



Japanese Language and
Japanese Studies Courses
for International Students

留学生のための

日本語・日本事情科目

講義概要

2024 ▶ 2025
April March



OITA UNIVERSITY

OITA UNIVERSITY

留学生のための

講義概要

2024-2025

1. 日本語・日本事情科目 (留学生向け科目)
2. グローバル科目 (留学生・日本人学生向け科目)
(使用言語：日本語／日本語と英語／英語)

この小冊子は、留学生のための「日本語・日本事情科目」、「グローバル科目」の概要を説明しています。

- ・「日本語・日本事情科目」：日本語科目は日本語習得を目的とした言語ベースの科目です。プレイスメントテストで受講するレベルを決めます。
- ・「グローバル科目」：大分について学ぶ授業のほか、言語学、ソーシャルメディア、経済、科学、ポピュラーカルチャー等の科目が、日本語、英語、日本語&英語で開講されます。

正規生は「日本語・日本事情科目」、「グローバル科目」を履修することができますが、日本語1～3を履修しても単位認定されませんので注意してください。学位取得のための単位に関する詳細については所属学部にも必ず確認を行ってください。

JAPANESE LANGUAGE AND JAPANESE STUDIES COURSES FOR INTERNATIONAL STUDENTS

(2024-2025)

1. Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students
2. Global Studies Courses for International and Japanese Students (offered in either English, Japanese, or an integration of both)

This booklet provides an introduction to Japanese Language, Japanese Studies, and Global Studies courses.

- Japanese Language and Japanese Studies Courses: designed to improve Japanese language skills. Students will enroll in the appropriate level of Japanese language course based on the result of a placement exam.
- Global Studies Courses: develop international and global perspectives as well as an understanding of Oita's region-specific issues through a variety of courses in the areas of linguistics, social media, economics, applied engineering and science, and popular culture. Courses are offered in either Japanese, English, or an integration of both.

All Global Studies courses are available to all international students. However, please note that credits for Japanese courses 1~3 are not granted to international students seeking an undergraduate degree. If you are a degree-seeking student, you must contact your faculty regarding credit requirements for your degree.

2024年度 前期

1. 日本語・日本事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル (使用言語)	頁
日本語1文法	火2	2	国際教育推進センター	長池一美	入門・初級	1
日本語1会話	水2	2	国際教育推進センター	長池一美	入門・初級	2
日本語1総合	木2	2	国際教育推進センター	長池一美	入門・初級	3
日本語1読解	木4	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	入門・初級	4
日本語2文法	火2	2	国際教育推進センター	南里敬三	初級	5
日本語2会話	水1	2	国際教育推進センター	南里敬三	初級	6
日本語2総合	金2	2	国際教育推進センター	南里敬三	初級	7
日本語2読解	月2	2	国際教育推進センター	藤田明美	初級	8
日本語3文法	木2	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	初中級	9
日本語3会話	水2	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	初中級	10
日本語3読解Ⅱ	火1	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	初中級	11
日本語3作文Ⅱ	金1	2	国際教育推進センター	藤田明美	初中級	12
多読で学ぶ日本語	月4	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	中級～上級	13
日本語4文法Ⅱ	火2	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	中級	14
日本語4スピーキング	木1	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	中級	15
日本語4読解Ⅱ	金2	2	国際教育推進センター	西島順子	中級	16
日本語4作文Ⅱ	水1	2	国際教育推進センター	西島順子	中級	17
日本語4応用Ⅱ	月1	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	中級	18
日本語5スピーキング	月2	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	上級	19
日本語5読解・作文Ⅱ	水1	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	上級	20
日本語5文法Ⅱ	金1	2	国際教育推進センター	西島順子	上級	21
Independent Research Project I	金5	2	国際教育推進センター	長池一美	英語	73
日本研究Ⅱ(日研生対象)	金5	2	国際教育推進センター	南里・坂井	中級～上級	22
大学院入学前予備教育日本語初級集中 (国費予備教育プログラム留学生対象)	-	-	国際教育推進センター	センター教員	初級	23
医学部学生補講(会話)	月1・2	-	国際教育推進センター	センター教員	初級～中級	-

2. グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	使用言語	頁
日本語文法分析	火2	2	国際教育推進センター	西島順子	日本語	36
ビジネスジャパニーズ演習3(時事問題Ⅱ)	月3	2	国際教育推進センター	藤田明美	日本語	37
ビジネスジャパニーズ演習4(実践演習)	金2	2	国際教育推進センター	藤田明美	日本語	38
狂言で大分を学ぶ	火4	2	国際教育推進センター	南里・西島	日本語&英語	39
歩いて楽しい街:大分と別府	金3	2	国際教育推進センター	南里敬三	日本語&英語	40
大分地域理解	水2	2	国際教育推進センター	西島順子	日本語	41
日本ポピュラーカルチャー研究	水4	2	国際教育推進センター	長池一美	日本語	42
Japanese Popular Culture Studies	火4	2	国際教育推進センター	長池一美	英語	93
日本の美学とファッションメディア研究	水3	2	国際教育推進センター	南里敬三	英語&日本語	43
The Politics and Economics of the EU	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	95
Ethnographic Study on Rural Japan	木4	2	経済学部	久保田 亮	英語	96

2024年度 時間割（前期）

	月	火	水	木	金
1 (9:00-10:30)	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語3読解Ⅱ (大坪)	日本語2会話 (南里)	日本語4スピーキング (坂井)	日本語5文法Ⅱ (西島)
	日本語4応用Ⅱ (大坪)		日本語4作文Ⅱ (西島)		日本語3作文Ⅱ (藤田)
			日本語5読解・作文Ⅱ (坂井)		
2 (10:40-12:10)	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語1文法 (長池)	日本語1会話 (長池)	日本語1総合 (長池)	日本語2総合 (南里)
	日本語5スピーキング (大坪)	日本語2文法 (南里)	大分地域理解 (西島)	日本語3文法 (坂井)	日本語4読解Ⅱ (西島)
	日本語2読解 (藤田)	日本語4文法Ⅱ (大坪)	日本語3会話 (坂井)		ビジネスジャパニーズ 演習4(実践演習) (藤田)
		日本語文法分析 (西島)			
3 (13:10-14:40)	ビジネスジャパニーズ 演習3(時事問題Ⅱ) (藤田)		日本の美学とファッ ションメディア研究 (南里)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	歩いて楽しい街: 大分と別府 (南里)
4 (14:50-16:20)	多読で学ぶ日本語 (坂井)	狂言で大分を学ぶ (南里・西島)	日本ポピュラー カルチャー研究 (長池)	日本語1読解 (坂井)	江漢大学ゼミナール3 (未定)
		Japanese Popular Culture Studies (長池)		Ethnographic Study on Rural Japan (久保田)	
		江漢大学ゼミナール2 (未定)			
5 (16:30-18:00)					日本研究Ⅱ(日研生) (南里・坂井)
					Independent Research Project I (長池外)

2024年度 後期

1. 日本語・日本事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル (使用言語)	頁
日本語1文法	火2	2	国際教育推進センター	長池 一美	入門・初級	1
日本語1会話	水1	2	国際教育推進センター	長池 一美	入門・初級	2
日本語1総合	木2	2	国際教育推進センター	長池 一美	入門・初級	3
日本語1読解	金1	2	国際教育推進センター	(未定)	入門・初級	24
日本語2文法	火1	2	国際教育推進センター	(未定)	初級	5
日本語2会話	水2	2	国際教育推進センター	(未定)	初級	6
日本語2総合	金2	2	国際教育推進センター	(未定)	初級	7
日本語2読解	月2	2	国際教育推進センター	南里 敬三	初級	25
日本語3文法	火2	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	初中級	9
日本語3会話	水2	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	初中級	10
日本語3読解 I	木2	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	初中級	26
日本語3作文 I	金1	2	国際教育推進センター	南里 敬三	初中級	27
日本語4文法 I	月1	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	中級	28
日本語4スピーキング	水1	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	中級	15
日本語4読解 I	金1	2	国際教育推進センター	西島 順子	中級	29
日本語4作文 I	火2	2	国際教育推進センター	西島 順子	中級	30
日本語4応用 I	木1	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	中級	31
日本語5スピーキング	月2	2	国際教育推進センター	大坪美奈子	上級	19
日本語5読解・作文 I	火1	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	上級	32
日本語5文法 I	金2	2	国際教育推進センター	西島 順子	上級	33
レポート・論文作成	木3	2	国際教育推進センター	西島 順子	超級	34
Independent Research Project II	金5	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	86
日本研究 I (日研生対象)	金5	2	国際教育推進センター	センター教員	中級	35
大学院入学前予備教育日本語初級集中 (国費予備教育プログラム留学生対象)	-	-	国際教育推進センター	センター教員	初級	23
医学部学生補講(会話)	月1・2	-	国際教育推進センター	センター教員	初級～中級	-

2. グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	使用言語	頁
日本語表現技術	火4	2	国際教育推進センター	西島 順子	日本語	44
日本語学 I	木2	2	国際教育推進センター	坂井美恵子	日本語	45
ビジネスジャパニーズ演習1(時事問題 I)	月3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語	46
ビジネスジャパニーズ演習2(キャリア形成)	水2	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語	47
Manga Studies	火4	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	101
日本の美学とファッションメディア研究	金4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語&日本語	43
日本語文法とディスコース	水4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語	48
Japanese Grammar and Discourse	金3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語	102
ソーシャルネットワークと大分からの発信 II	水3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語&英語	49
認知言語学から見た日英対照分析	木4	2	教育学部	橋本 美喜男	英語	50
Introduction to Global Studies	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	105
Economics of Globalization and Sustainability	金3	2	経済学部	柴田 茂樹	英語	106
Japanese Management and Sustainable Development	木4	2	経済学部	于 松平	英語	107
自然科学への招待	金2	2	理工学部	近藤 隆司	日本語&英語	51

2024年度 時間割 (後期)

	月	火	水	木	金
1 (9:00-10:30)	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語2文法 (未定)	日本語1会話 (長池)	日本語4応用 I (大坪)	日本語1読解 (未定)
	日本語4文法 I (大坪)	日本語5読解・作文 I (坂井)	日本語4スピーキング (坂井)		日本語4読解 I (西島)
					日本語3作文I (南里)
2 (10:40-12:10)	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語1文法 (長池)	日本語2会話 (未定)	日本語1総合 (長池)	日本語2総合 (未定)
	日本語2読解 (南里)	日本語3文法 (坂井)	日本語3会話 (坂井)	日本語3読解 I (大坪)	日本語5文法 I (西島)
	日本語5スピーキング (大坪)	日本語4作文 I (西島)	ビジネスジャパニーズ 演習2(キャリア形成) (南里)	日本語学 I (坂井)	自然科学への招待 (近藤)
3 (13:10-14:40)	ビジネスジャパニーズ 演習1(時事問題 I) (南里)		ソーシャルネットワー クと大分からの発信 II (南里)	レポート・論文作成 (西島)	Japanese Grammar and Discourse (南里)
				Introduction to Global Studies (DAY)	Economics of Globalization and Sustainability (柴田)
4 (14:50-16:20)		日本語表現技術 (西島)	日本語文法と ディスコース (南里)	認知言語学から見た 日英対照分析 (橋本)	日本の美学とファッ ションメディア研究 (南里)
		Manga Studies (長池)		Japanese Management and Sustainable Development (于)	
		江漢大学ゼミナール1 (未定)			
5 (16:30-18:00)					Independent Research Project II (長池外)
					日本研究 I (日研生) (センター教員)

Spring Semester, April 2024 - August 2024

1. Japanese Language and Japanese Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	52
Japanese 1 Conversation	Wed.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	53
Japanese 1 Integrated Activities	Thu.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	54
Japanese 1 Reading	Thu.4	2	GAIA	SAKAI Mieko	Novice	55
Japanese 2 Grammar	Tue.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	56
Japanese 2 Conversation	Wed.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	57
Japanese 2 Integrated Activities	Fri.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	58
Japanese 2 Reading	Mon.2	2	GAIA	FUJITA Akemi	Novice-High	59
Japanese 3 Grammar	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	60
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	61
Japanese 3 Reading II	Tue.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate-Low	62
Japanese 3 Writing II	Fri.1	2	GAIA	FUJITA Akemi	Intermediate-Low	63
Extensive Reading in Japanese	Mon.4	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Advanced	64
Japanese 4 Grammar II	Tue.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	65
Japanese 4 Speaking	Thu.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	66
Japanese 4 Reading II	Fri.2	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Intermediate	67
Japanese 4 Writing II	Wed.1	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Intermediate	68
Japanese 4 Contextual Japanese II	Mon.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	69
Japanese 5 Speaking	Mon.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Advanced	70
Japanese 5 Reading / Writing II	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	71
Japanese 5 Grammar II	Fri.1	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Advanced	72
Independent Research Project I	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	73
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students	—	—	GAIA	Instructors of GAIA	Novice	74
Japanese for Medical Students: Conversation	Mon.1・2	—	GAIA	Instructors of GAIA	Novice-Intermediate	—

2. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Language	PAGE
Analysis of Japanese Grammar	Tue.2	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Japanese	87
Business Japanese Seminar 3 : Current affairs II	Mon.3	2	GAIA	FUJITA Akemi	Japanese	88
Business Japanese Seminar 4 : Job search	Fri.2	2	GAIA	FUJITA Akemi	Japanese	89
Learning OITA Through Kyogen	Tue.4	2	GAIA	NANRI NISHIJIMA	Japanese&English	90
City Project: Oita and Beppu	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese&English	91
Oita Area Studies	Wed.2	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Japanese	92
Japanese Popular Culture Studies	Tue.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	93
日本ポピュラーカルチャー研究	Wed.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Japanese	42
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	Wed.3	2	GAIA	NANRI Keizo	English&Japanese	94
The Politics and Economics of the EU	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	95
Ethnographic Study on Rural Japan	Thu.4	2	Economics	KUBOTA Ryo	English	96

※ GAIA : Global Education and Intercultural Advancement Center

COURSE SCHEDULE (Spring Semester, April 2024 - August 2024)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 (9:00-10:30)	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 3 Reading II (OTSUBO)	Japanese 2 Conversation (NANRI)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)	Japanese 5 Grammar II (NISHIJIMA)
	Japanese 4 Contextual Japanese II (OTSUBO)		Japanese 4 Writing II (NISHIJIMA)		Japanese 3 Writing II (FUJITA)
			Japanese 5 Reading / Writing II (SAKAI)		
2 (10:40-12:10)	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (NAGAIKE)	Japanese 1 Conversation (NAGAIKE)	Japanese 1 Integrated Activities (NAGAIKE)	Japanese 2 Integrated Activities (NANRI)
	Japanese 5 Speaking (OTSUBO)	Japanese 2 Grammar (NANRI)	Oita Area Studies (NISHIJIMA)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Japanese 4 Reading II (NISHIJIMA)
	Japanese 2 Reading (FUJITA)	Japanese 4 Grammar II (OTSUBO)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)		Business Japanese Seminar 4 : Job search (FUJITA)
		Analysis of Japanese Grammar (NISHIJIMA)			
3 (13:10-14:40)	Business Japanese Seminar 3 : Current affairs II (FUJITA)		Japanese Aesthetics & Fashion Media Studies (NANRI)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	City Project: Oita and Beppu (NANRI)
4 (14:50-16:20)	Extensive Reading in Japanese (SAKAI)	Learning Oita Through Kyogen (NANRI & NISHIJIMA)	日本ポピュラーカルチャー研究 (NAGAIKE)	Japanese 1 Reading (SAKAI)	Jinghan University 3+1 Program 3
		Japanese Popular Culture Studies (NAGAIKE)		Ethnographic Study on Rural Japan (KUBOTA)	
		Jinghan University 3+1 Program 2			
5 (16:30-18:00)					Independent Research Project I (NAGAIKE)

Fall Semester, October 2024 - February 2025

1. Japanese Language and Japanese Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	52
Japanese 1 Conversation	Wed.1	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	53
Japanese 1 Integrated Activities	Thu.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	54
Japanese 1 Reading	Fri.1	2	GAIA		Novice	75
Japanese 2 Grammar	Tue.1	2	GAIA		Novice-High	56
Japanese 2 Conversation	Wed.2	2	GAIA		Novice-High	57
Japanese 2 Integrated Activities	Fri.2	2	GAIA		Novice-High	58
Japanese 2 Reading	Mon.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	76
Japanese 3 Grammar	Tue.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	60
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	61
Japanese 3 Reading I	Thu.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate-Low	77
Japanese 3 Writing I	Fri.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Intermediate-Low	78
Japanese 4 Grammar I	Mon.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	79
Japanese 4 Speaking	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	66
Japanese 4 Reading I	Fri.1	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Intermediate	80
Japanese 4 Writing I	Tue.2	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Intermediate	81
Japanese 4 Contextual Japanese I	Thu.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	82
Japanese 5 Speaking	Mon.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Advanced	70
Japanese 5 Reading / Writing I	Tue.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	83
Japanese 5 Grammar I	Fri.2	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Advanced	84
Academic Writing in Japanese	Thu.3	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Advanced	85
Independent Research Project II	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	86
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students	—	—	GAIA	Instructors of GAIA	Novice	74
Japanese for Medical Students: Conversation	Mon.1・2	—	GAIA	Instructors of GAIA	Novice-Intermediate	—

2. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Language	PAGE
Japanese Presentation Skill	Tue.4	2	GAIA	NISHIJIMA Yoriko	Japanese	97
Japanese Linguistics I	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Japanese	98
Business Japanese Seminar 1 : Current affairs I	Mon.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese	99
Business Japanese Seminar 2 : Career development	Wed.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese	100
Manga Studies	Tue.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	101
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	Fri.4	2	GAIA	NANRI Keizo	English&Japanese	94
Japanese Grammar and Discourse	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	English	102
日本語文法とディスコース	Wed.4	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese	48
Social Networks and Introduction of Oita to the World II	Wed.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese&English	103
Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese in the Framework of Cognitive Linguistics	Thu.4	2	Education	HASHIMOTO Mikio	English	104
Introduction to Global Studies	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	105
Economics of Globalization and Sustainability	Fri.3	2	Economics	SHIBATA Shigeki	English	106
Japanese Management and Sustainable Development	Thu.4	2	Economics	YU Songping	English	107
Invitation to Natural Science	Fri.2	2	Science and Technology	KONDO Ryuji	Japanese&English	108

※ GAIA : Global Education and Intercultural Advancement Center

COURSE SCHEDULE (Fall Semester, October 2024 - February 2025)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 (9:00-10:30)	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 2 Grammar	Japanese 1 Conversation (NAGAIKE)	Japanese 4 Contextual Japanese I (OTSUBO)	Japanese 1 Reading
	Japanese 4 Grammar I (OTSUBO)	Japanese 5 Reading / Writing I (SAKAI)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)		Japanese 4 Reading I (NISHIJIMA)
					Japanese 3 Writing I (NANRI)
2 (10:40-12:10)	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (NAGAIKE)	Japanese 2 Conversation	Japanese 1 Integrated Activities (NAGAIKE)	Japanese 2 Integrated Activities
	Japanese 2 Reading (NANRI)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)	Japanese 3 Reading I (OTSUBO)	Japanese 5 Grammar I (NISHIJIMA)
	Japanese 5 Speaking (OTSUBO)	Japanese 4 Writing I (NISHIJIMA)	Business Japanese Seminar 2 : Career development (NANRI)	Japanese Linguistics I (SAKAI)	Invitation to Natural Science (KONDO)
3 (13:10-14:40)	Business Japanese Seminar 1 : Current affairs I (NANRI)		Social Networks and Introduction of Oita to the World II (NANRI)	Academic Writing in Japanese (NISHIJIMA)	Japanese Grammar and Discourse (NANRI)
				Introduction to Global Studies (DAY)	Economics of Globalization and Sustainability (SHIBATA)
4 (14:50-16:20)		Japanese Presentation Skill (NISHIJIMA)	日本語文法とディスコース (NANRI)	Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese in the Framework of Cognitive Linguistics (HASHIMOTO)	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies (NANRI)
		Manga Studies (NAGAIKE)		Japanese Management and Sustainable Development (YU)	
		Jinghan University 3+1 Program 1			
5 (16:30-18:00)					Independent Research Project II (NAGAIKE)

1. 日本語・日本事情科目

(留学生向け科目)

授業科目名	日本語 1 文法		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：火曜 2 限 後期：火曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語基本文法及び言語機能の習得		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひらがな、カタカナの習得 2. 自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等の言語機能を使うのに必要な文法の習得 		
授業の内容	<p>教科書に従って、文法、言語機能を導入 第1週：オリエンテーション（ひらがな導入・簡単な挨拶の練習） 第2週：第1課の語彙と文法（カタカナ導入） 第3週：第2課の語彙と文法 第4週：第3課の語彙と文法 第5週：第4課の語彙と文法 第6週：第5課の語彙と文法 第7週：第6課の語彙と文法 第8週：中間テスト 第9週：第7課の語彙と文法 第10週：第8課の語彙と文法 第11週：第9課の語彙と文法 第12週：第10課の語彙と文法 第13週：第11課の語彙と文法 第14週：第12課の語彙と文法 第15週：全課の復習</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 語彙と文法の講義ではゲームやアクティビティを用いて基礎を学び、ワークブックでの練習や創作的宿題を通して基本の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載。小テストで学生の理解度を確認しながら進行する。</p>		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる新出語彙や文法を用いた宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任とする。予習復習に3時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）I 第3版（ジャパントイムズ社）ISBN: 978-4789017305		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社） 		
成績評価の方法 及び評価割合	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト・宿題（30%） 2. 中間テスト（30%） 3. 期末テスト（40%）*出席率に注意 		
備考・注意事項	出席率70%以下（講義4回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語を習得するためには必須。		

授業科目名	日本語 1 会話		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：水曜 2 限 後期：水曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語の初歩的な会話能力の習得		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 限られた状況で適切な挨拶と簡単な会話ができる。 2. 自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等を限られた語彙で表現できる。 		
授業の内容	<p>教科書に従って、文法、言語機能も取り入れる。</p> <p>第 1 週：オリエンテーション・あいさつ表現を使った口頭練習</p> <p>第 2 週：第 1 課の会話練習</p> <p>第 3 週：第 2 課の会話練習</p> <p>第 4 週：第 3 課の会話練習</p> <p>第 5 週：第 4 課の会話練習</p> <p>第 6 週：第 5 課の会話練習</p> <p>第 7 週：第 6 課の会話練習</p> <p>第 8 週：中間テスト（文法、語彙、会話を含む。）</p> <p>第 9 週：第 7 課の会話練習</p> <p>第 10 週：第 8 課の会話練習</p> <p>第 11 週：第 9 課の会話練習</p> <p>第 12 週：第 10 課の会話練習</p> <p>第 13 週：第 11 課の会話練習</p> <p>第 14 週：第 12 課の会話練習</p> <p>第 15 週：全課の復習</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】</p> <p>講義時間内には real-life situation を基盤とした口頭練習を積み重ね、基礎会話力を培う。ワークブックの聴解練習や実践会話を通じた宿題で基本の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載する。</p>		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる実践会話練習の宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任です。予習や復習に 3 時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）I 第 3 版（ジャパントイズ社）ISBN: 978-4789017305		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社） 		
成績評価の方法 及び評価割合	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト・宿題（30%） 2. 中間テスト（30%） 3. 期末テスト（40%）*出席率に注意 		
備考・注意事項	出席率 70% 以下（講義 4 回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語を習得するためには必須。		

授業科目名	日本語 1 総合		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期・後期：木曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語基礎文法・言語機能の導入後、日常生活で総合的に活用することができるようになる。		
具体的な 到達目標	基礎的な言語機能、限られた語彙や文法表現を用いて、日常場面で自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等を表現することができる。		
授業の内容	<p>日本語 1 で学習した文法・言語機能を活用し、様々なタスク活動練習を行う。</p> <p>第 1 週：オリエンテーション（ひらがな練習・かんたんな挨拶の習得）</p> <p>第 2 週：第 1 課の文法会話等を含んだタスク練習（カタカナ練習を含む。）</p> <p>第 3 週：第 2 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 4 週：第 3 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 5 週：第 4 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 6 週：第 5 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 7 週：第 6 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 8 週：中間テスト（文法、語彙、会話を含む。）</p> <p>第 9 週：第 7 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 10 週：第 8 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 11 週：第 9 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 12 週：第 10 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 13 週：第 11 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 14 週：第 12 課の文法会話等を含んだタスク練習</p> <p>第 15 週：全課の復習</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】</p> <p>日本語 1 で学習した文法・言語機能を活用し、様々なタスク活動練習を行う。語彙、文法、会話練習を総括的に復習し基礎日本語の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載する。</p>		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブック等で復習。それ以外に与えられる宿題も次週までに完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任とする。予習や復習に 3 時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）I 第 3 版（ジャパンタイムズ社）ISBN: 978-4789017305		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社） 		
成績評価の方法 及び評価割合	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト・宿題（30%） 2. 中間テスト（30%） 3. 期末テスト（40%）*出席率に注意 		
備考・注意事項	出席率 70% 以下（講義 4 回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語を習得するためには必須。		

授業科目名	日本語 1 読解		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	木曜 4 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	ひらがなとカタカナを習得させ、毎週学習する新出漢字（計 145）の習得とそれを使った基礎的文章の読解力をつけることがねらいである。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひらがなとカタカナの読み書きの習熟。 2. 毎週学習する漢字と熟語が読め書けること。 3. 簡単な和文（伝言、手紙、物語等）が読め、また短文が書けること。 		
授業の内容	<p>原則として日本語 1 の教科書「読み書き編」に従って毎週 1 課ずつ進む。 第 1 週：第 1 課はひらがなの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 2 週：第 2 課はカタカナの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 3 週：第 2 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 4 週：第 3 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 5 週：第 4 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 6 週：第 5 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 7 週：第 6 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 8 週：第 7 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 9 週：第 3 課から 8 課までの漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習。 第 10 週：第 8 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 11 週：第 9 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 12 週：第 10 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 13 週：第 11 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 14 週：第 12 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 15 週：全課の漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習。</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 学生に自身の力を知らせる為、既習漢字の練習を宿題とし毎週テストも行う。</p>		
時間外学習	毎週の新出漢字の習得には時間外の練習が不可欠なので、毎日読み書きの練習をすること。		
教科書	初級日本語（げんき）I 第 3 版（ジャパン・タイムズ社）（初版の教科書は使用できないので、必ず第 3 版の教科書を購入して下さい。）		
参考書	日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト（毎週）20% 宿題（毎週）20% 中間試験 20% 期末テスト 40% 但し、出席率 70% 以下の場合には期末テストが受けられない。		
備考・注意事項	漢字の習得には毎週授業に出て必ずその週に学習した漢字を覚えることが必須である。		

授業科目名	日本語 2 文法		
担当教員	前期：南里 敬三 後期：（未定）	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 火曜 2 限 後期 火曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントができるようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	一文中での二つの出来事の前後関係の明示方法、意志形を使った予定の報告の仕方、受け身、使役表現を使った出来事の説明方法、敬語を使った丁寧な話し方を習得し、初級レベルの文法習得を完了する。		
授業の内容	<p>第 1－2 週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第 2 週：可能形を使って自分ができることを説明する 第 3 週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第 4 週：連体修飾節を使ってモノについての詳しい説明を行う 第 5－6 週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第 6－7 週：人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第 8－9 週：復習 第 10 週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第 11 週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第 12 週：謙譲語 1、謙譲語 2 を学び、へりくだった表現ができるようになる 第 13 週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第 14－15 週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明□パターン練習□会話練習」。学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。</p>		
時間外学習	予習・復習それぞれに 2 時間の学習時間が必要。		
教科書	げんき II (ジャパントイムズ出版)		
参考書	日本語文法辞典 (初級編)、日本語文法辞典 (中級編) (ジャパントイムズ出版)		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ (毎週：10%)、エッセイ 1、エッセイ 2 (各 5%)、中間テスト (15%)、大分散策 (5%)、会話テスト 1、会話テスト 2 (それぞれ 10%、15%)、期末テスト (25%)、宿題 (10%)		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本語 2 会話、日本語 2 総合と一緒に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語2 会話		
担当教員	前期：南里 敬三 後期：（未定）	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 水曜 1限 後期 水曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントが出来るようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	自分のスケジュールの説明、不可抗力で発生した出来事の報告、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことの報告などを取り交えて会話が対話形式で最低8分間できるようになる。また、その際、敬語の基本的使用ができるようになる。		
授業の内容	<p>第1－2週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第2週：可能形を使って自分ができていることを説明する 第3週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第4週：連体修飾節を使ってモノについての詳しい説明を行う 第5－6週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第6－7週：人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第8－9週：復習 第10週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第11週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第12週：謙譲語1、謙譲語2を学び、へりくだった表現ができるようになる 第13週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第14－15週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明・パターン練習・会話練習」。学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。</p>		
時間外学習	予習・復習それぞれに2時間の学習時間が必要。		
教科書	げんき II（ジャパントイムズ出版）		
参考書	日本語文法辞典（初級編）、日本語文法辞典（中級編）（ジャパントイムズ出版）		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ（毎週：10%）、エッセイ1、エッセイ2（各5%）、中間テスト（15%）、大分散策（5%）、会話テスト1、会話テスト2（それぞれ10%、15%）、期末テスト（25%）、宿題（10%）		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本語2 会話、日本語2 総合と一緒に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語2 総合		
担当教員	前期：南里 敬三 後期：（未定）	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期・後期：金曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントができるようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	自分のスケジュール、不可抗力で発生した出来事、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことなどのトピックをテーマにした会話文が読めて理解できるようになる。自分の将来の計画について600字程度の作文が辞書なしで書けるようになる。		
授業の内容	<p>第1-2週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第2週：可能形を使って自分ができていることを説明する 第3週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第4週：連体修飾節を使ってモノについての詳しい説明を行う 第5-6週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第6-7週：人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第8-9週：復習 第10週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第11週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第12週：謙譲語1、謙譲語2を学び、へりくだった表現ができるようになる 第13週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第14-15週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明□パターン練習□会話練習」。学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。</p>		
時間外学習	予習・復習それぞれに2時間の学習時間が必要。		
教科書	げんきII（ジャパントイムズ出版）		
参考書	日本語文法辞典（初級編）、日本語文法辞典（中級編）（ジャパントイムズ出版）		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ（毎週：10%）、エッセイ1、エッセイ2（各5%）、中間テスト（15%）、大分散策（5%）、会話テスト1、会話テスト2（それぞれ10%、15%）、期末テスト（25%）、宿題（10%）		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本語2会話、日本語2総合と一緒に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語 2 読解		
担当教員	藤田 明美	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：月曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	akemi1027f@gmail.com		
授業のねらい	初級前半修了程度の学習者の読解力の向上のための新たな語彙、表現、漢字の習得		
具体的な 到達目標	約 300 の基本漢字の書き方と読み方 ・ 基本漢字から派生する語彙の習得 ・ 短い文章の読解 ・ 身近な出来事についての作文		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&初級の復習 (1) 2. 初級の復習 (2) 3. 日本のおもしろい経験 (1) 4. 日本のおもしろい経験 (2) 5. 悩みの相談 6. 私が好きな所 7. まんが「ドラえもん」 8. 中間試験 9. オノ・ヨーコ 10. 大学生活 11. 手紙とメール 12. 猫の皿 13. 厄年 14. 桜さんの日記 15. 「顔文字と絵文字」 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 この授業では前回の授業で習った漢字のテストを行う。 また、新しく習得した語彙、表現、漢字を使用した読解、作文、会話の練習を行う。</p>		
時間外学習	課題や自主学習に週 4 時間取り組む必要がある。 予習・復習は必須。予習をしている前提で授業を進める。		
教科書	『初級日本語 げんきⅡ 第3版』(The Japan Times)		
参考書	『新漢英字典』(研究社) 『日本語基本文法辞典』 (The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加 (10%)、宿題 (20%)、小テスト (10%)、 中間・期末テスト (60%)		
備考・注意事項	出席率が 70%を割る場合は、期末テストが受けられない。 本授業計画は受講者の理解度・習熟度に応じて、変更される可能性がある。		

授業科目名	日本語 3 文法		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期： 木曜 2 限 後期： 火曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した学習者を対象にしており、初級レベルで学習した基本的な文法を、話題や場面に応じて適切に運用できるようになること、また、日常会話を支障なく行うために必要となる文型や語彙を習得することを目的とする。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。 2. 話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。 3. 日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。 4. さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。 		
授業の内容	<p>以下のトピックについて流暢に話ができるよう練習を行う。そのときに必要となる文型、語彙、表現を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 友人や家族の紹介 2. 子供のころの思い出 3. 性格 4. 状況の説明 5. 自国の紹介 6. 自国を旅行する友だちへのアドバイス 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国民性の比較 10. 日本の生活習慣や印象 11. 将来の希望や夢 12. 30年後の世界 13. 食と健康 14. ストレス解消法 15. 若者言葉 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 コミュニケーション能力の向上のため、毎回ペアワークやロールプレイ、聴解練習を取り入れる。</p>		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese』（凡人社）		
参考書	『日本語文法辞典[中級編』（The Japan Times）		
成績評価の方法 及び評価割合	<p>レッスンテスト（30%）、 期末テスト（30%）、 単語クイズ（10%）、 宿題（10%）、授業参加・態度など（20%） 出席率が 70% 以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。</p>		
備考・注意事項	<p>日本語 2 修了、もしくはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 日本語 3 文法と日本語 3 会話は同時に受講しなければならない。</p>		

授業科目名	日本語 3 会話		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期・後期：水曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した学習者を対象にしており、初級レベルで学習した基本的な文法を、話題や場面に応じて適切に運用できるようになること、また、日常会話を支障なく行うために必要となる文型や語彙を習得することを目的とする。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。 2. 話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。 3. 日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。 4. さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。 		
授業の内容	<p>以下のトピックについて流暢に話ができるよう練習を行う。そのときに必要となる文型、語彙、表現を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 友人や家族の紹介 2. 子供のころの思い出 3. 性格 4. 状況の説明 5. 自国の紹介 6. 自国を旅行する友だちへのアドバイス 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国民性の比較 10. 日本の生活習慣や印象 11. 将来の希望や夢 12. 30年後の世界 13. 食と健康 14. ストレス解消法 15. 若者言葉 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 コミュニケーション能力の向上のため、毎回ペアワークやロールプレイ、聴解練習を取り入れる。</p>		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese』（凡人社）		
参考書	『日本語文法辞典[中級編]』（The Japan Times）		
成績評価の方法 及び評価割合	<p>レッスンテスト（30%）、 期末テスト（30%）、 単語クイズ（10%）、 宿題（10%）、授業参加・態度など（20%） 出席率が 70% 以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。</p>		
備考・注意事項	<p>日本語 2 修了、もしくはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 日本語 3 文法と日本語 3 会話は同時に受講しなければならない。</p>		

授業科目名	日本語 3 読解 II		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：火曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	身近な日本についての初中級レベルの短い文章を読み、理解できるようになること		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成を理解する。 ・ 文章の中から必要な情報をすばやく探す。 ・ 接続詞や副詞の適切な使い方を学ぶ。 ・ 日本の生活や文化について学ぶ。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 読み物① 3. 読み物② 4. 読み物③ 5. 読み物④ 6. 読み物⑤ 7. 読み物⑥ 8. 中間試験 9. 読み物⑦ 10. 読み物⑧ 11. 読み物⑨ 12. 読み物⑩ 13. 読み物⑪ 14. 読み物⑫ 15. 復習 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 ペアやグループで内容について話し合う時間を設ける。</p>		
時間外学習	復習や小テストの準備などの時間外学習を必要とする。		
教科書	毎回、教材を配布する。		
参考書	参考書は指定しない		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、小テスト等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。授業は日本語で行う。 出席率が70%を割った場合は期末テストを受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 3 作文 II		
担当教員	藤田 明美	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期： 金曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	akemi1027f@gmail.com		
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を使用し、身近なトピックについて 600~700 字程度の作文が書けるようになる。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・段落を意識した作文が書けるようになる。 ・文の構成を理解し接続詞や副詞を効果的に使った文章を書く。 ・原稿用紙の使用の仕方を学ぶ。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 許可を求める 3. 感謝を表す 4. 誘い、依頼を断る 5. 商品を宣伝する 6. 自己 PR をする 7. 復習 8. 中間試験 9. イベント情報を伝える 10. 感情を表現する 11. アドバイスする① 12. アドバイスする② 13. 将来を予測する 14. 過去と現在を比較する 15. 復習 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする</p>		
時間外学習	授業後の復習 発表の練習		
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する		
参考書	授業で提示する		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題 (10%)、課題 (20%)、発表 (15%)、試験 (55%)		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70%以下の場合は期末 試験を受けられない。		

授業科目名	多読で学ぶ日本語		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	(前期) 月曜 4限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階7番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	多読とは、辞書を使わないで読めるやさしい本を、たくさん、楽しく、速く読むことです。語学力を伸ばすために効果的な外国語学習法です。この授業では、やさしく短い読み物を読むことから始め、少しずつ長さで日本語のレベルを上げていくことで、日本語で書かれた本をより速く、より多く読めるようになるだけでなく、話す力、書く力も伸ばすことを目指しています。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で書かれた本や多読用図書を、楽しみながら多く読む ・本を読む習慣を身に付け、日本語で読むことに対する抵抗をなくす ・日本語を速く読む力、読解力、語彙力を身に付ける ・話す力と書く力を含む日本語能力を向上させる 		
授業の内容	<p>教員が用意する多読用図書や、図書館にある本の中から各自で好きなものを選び、それぞれ読み進めていきます。授業中と授業外で、できるだけたくさん本を読みます。毎週、読んだ本のページ数、内容と感想、読み方について気付いたことを記録し、提出します。また、毎回、小グループで読んだ本について紹介し合います。その他、物語を一つ書きます。また、最後に、読んだ本の中からおすすめの本を一冊選んでブックトレーラーを作成し、クラスで発表します。</p> <p>第1週 オリエンテーション（多読図書の紹介、読み方の紹介） 第2週 多読① 第3週 グループで本の紹介、多読② 第4週 グループで本の紹介、多読③ 第5週 グループで本の紹介、多読④ 第6週 グループで本の紹介、多読⑤ 第7週 グループで本の紹介、多読⑥ 第8週 物語を書く 第9週 グループで本の紹介、多読⑦ 第10週 グループで本の紹介、多読⑧ 第11週 グループで本の紹介、多読⑨ 第12週 グループで本の紹介、多読⑩ 第13週 発表の準備（ブックトレーラー作成） 第14週 おすすめの本の発表 第15週 おすすめの本の発表</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 一冊読むごとに読書記録を付けるとともに、読んだ本について発表することにより、理解を深める。</p>		
時間外学習	多読を行う		
教科書	『レベル別日本語多読ライブラリー』『日本語多読ボックス』などの多読用図書は教員が用意する。		
参考書	なし		
成績評価の方法 及び評価割合	本の冊数（20%）、読書記録表の内容（20%）、グループ発表（10%）、物語を書く（15%）、ブックトレーラーの発表（25%）、授業態度（10%）		
備考・注意事項	プレイメントテストでレベル3～6と判定された学生を対象とする。		

授業科目名	日本語 4 文法 II		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：火曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	1 年を通じて文法 I と文法 II を履修することで、中級レベル文法の理解を深め、正しく使えるようにする。		
具体的な 到達目標	名詞修飾や副詞・接続詞などを理解し、適切に使えるようになることを目指す。		
授業の内容	<p>日本語 4 文法 I と同じ教科書を使い、この授業では 7 課から 16 課までを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 複文構造 3. 名詞修飾 4. 複文を作る言葉 1 5. 複文を作る言葉 2 6. 複文を作る言葉 2、3 7. 複文を作る言葉 3 8. 中間試験 9. 否定の言い方 10. わたしからの発信 1 11. わたしからの発信 1、2 12. わたしからの発信 2 13. 決まった使い方の副詞① 14. 決まった使い方の副詞②／接続の言葉① 15. 接続の言葉② 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 習った文法を使って、その場で実際に例文を作ってみる時間を設ける。</p>		
時間外学習	宿題・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を必要とする。		
教科書	『中級日本語文法要点整理ポイント 20』スリーエーネットワーク社		
参考書	『日本語基本文法辞典』『日本語文法辞典(中級編)』ジャパントイムズ		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)		
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイメントテストでレベル 4 と判定された者を対象とする。少なくとも漢字 500 字以上の知識が必要である。授業は日本語でおこなう。出席率が 70% を割った場合は、期末テストを受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 4 スピーキング		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期： 木曜 1限 後期： 水曜 1限
担当教員研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階 7番	097-554-7516	msakai@oita-u.ac.jp
授業のねらい	中級後半レベルの学習者を対象に、大学生活をおくる上で必要となる日常の様々な場面に対応できるスピーキング能力と聴解力の向上を目指す。また、自分たちが暮らしている大分県の情報を集め、町に出て取材をすることにより、大分県の特色や魅力を探り、日本について理解を深める。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラスメイトや日本人との日本語によるコミュニケーションを通じ、適切な表現を使用し、一般的な話題について正確かつ活発に会話ができる。 2. 総合的な日本語の運用能力を高め、ある程度まとまった量の話ができる。 3. フォーマルな場面とインフォーマルな場面での表現の使い分けを習得する。 4. 自然なスピードで話される様々な場面の会話を聞き取り、内容を説明できる。 		
授業の内容	<p>前半は以下の各々の場面で必要とされる表現や語彙を学び、ロールプレイによるインターアクティブな会話練習や聴解練習を行う。また、ある程度まとまった内容を話すための口頭発表も行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 貸してもらう 3. 勧誘する・断る 4. 許可を求める・与える 5. 予定を変更する 6. 使い方を説明する 7. 口頭発表 8. 中間試験 <p>後半はグループ活動を行う。まず、各グループでテーマを決め、日本人にインタビュー調査を行い、詳しい情報や予備知識を得る。その上で、テーマとした場所を実際に訪問し、調査対象を取材し、提言を考える。調査結果をビデオにまとめてクラスで発表し、提言について話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. お気に入りの大分 (1) 会話練習・テーマ決め 10. お気に入りの大分 (2) インタビュー調査 11. お気に入りの大分 (3) 調査結果のまとめと分析 12. お気に入りの大分 (4) 取材と撮影 13. お気に入りの大分 (5) 発表準備と字幕付け 14. お気に入りの大分 (6) 発表・提言について話し合い 15. 口頭試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 発表では個別にエラーの修正やフィードバックを行い、各学生が自分の弱点に気づき、自ら修正できる能力を身につけることを目指す。</p>		
時間外学習	聴解練習、日本人へのインタビュー調査、実地調査準備、発表の準備など毎週2時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級』くろしお出版		
参考書	『にほんご会話上手!』ask 出版		
成績評価の方法 及び評価割合	宿題 (10%)、単語クイズ (10%)、中間試験 (30%)、口頭試験 (10%)、口頭発表 (15%)、プロジェクト (15%)、クラス参加・態度など (10%)		
備考・注意事項	日本語 3 修了、またはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 出席率が 70% 以下の場合は、最終プロジェクトの参加は認められない。		

授業科目名	日本語 4 読解Ⅱ		
担当教員	西島 ^{よりこ} 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階 3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業のねらいは、論説文や小説、エッセイ、俳句など、さまざまなジャンルの文章を読みながら、中上級レベルの語彙や表現を習得し、読解力を身に付けることである。これらの読解を通して、日本の社会や文化への理解を深めるだけでなく、それぞれのテーマについて自ら考える力を養う。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様なジャンルのまとまった文章を読むことができる。 2. 文章を読んで、未知の情報や筆者の考えを正確に理解することができる。 3. 文章を読んで得た知識を身近なこととしてとらえ、考えを深めることができる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／論説文① 2. エッセイ① 3. 論説文② 4. エッセイ② 5. エッセイ③ 6. 論説文③-1 7. 論説文③-2 8. 試験Ⅰ 9. 詩 10. 小説① 11. 論説文④-1 12. 論説文④-2 13. 小説② 14. エッセイ④ 15. 試験Ⅱ <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 海外でも人気がある作家（村上春樹、吉本ばなな、大江健三郎など）の作品を読む。内容理解だけではなく、本文で提起されている問題やテーマについて、話したり、調べたりすることで、自身の問題として考え、自分なりの見方を持つ。</p>		
時間外学習	毎週、予習と課題を行う。 単語クイズのための復習をする。		
教科書	西原純子他、『中上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む』アルク、2012		
参考書			
成績評価の方法 及び評価割合	試験Ⅰ（35%）、試験Ⅱ（35%）、課題（15%）、単語クイズ（15%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末テストを受ける資格はない。		

授業科目名	日本語 4 作文 II		
担当教員	西島 ^{よりこ} 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 水曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 - 6 番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業のねらいは、さまざまなテーマに関わる語彙や表現を習得しながら、わかりやすく、詳細に文章が書けるようになることである。また、論理的に書くことを学び、アカデミック・ライティングの基礎を築く。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関連した語彙や表現を習得し、わかりやすい文章が書ける。 2. やや複雑なことでも、意見や情報を伝えることができる。 3. 800 字以上の論理的なレポートが書けるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／はじめに 2. 自己紹介 3. 旅行（書き言葉で書く） 4. 異文化理解 5. 子供の遊び 6. 建築物 7. 仕事 8. ピアラーディング① 9. 論理的に書く 10. 引用する 11. グラフを読む&書く 12. 社会問題 13. 適切な文を書く 14. アカデミックなレポートの基礎知識 15. ピアラーディング②／総括 <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 学生が書きたくなるようなテーマを選んでいる。ディスカッションし、楽しみながら書くことで、ライティングへの苦手意識を克服する。また、ピアラーディングを行うことで、クラスメートが互いに文章技術を学び、レベルアップを図る。</p>		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。		
教科書	教材配布		
参考書	藤尾喜代子、『大学で学ぶための日本語ライティング』ジャパンタイムズ、2006 杉浦千里、『書くことを楽しむ 中級作文』凡人社、2020 伊集院郁子『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』ASK、2020		
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート（30%）、期末レポート（30%）、各課題（40%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末レポートを提出する資格はない。		

授業科目名	日本語 4 応用 II		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：月曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で習得した文法、語彙、そして会話などの知識や能力を実践的な文脈に応用させることを目的としている。また様々なトピックについて日本語で議論や分析を行うことでそのテーマの理解を深めることを目指す。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で簡単なディスカッションが行えるようになる。 ・日本語で自己表現が行えるようになる。 ・日本の文化や社会についての理解を深める。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. メディアから学ぶ日本語① 3. メディアから学ぶ日本語② 4. メディアから学ぶ日本語③ 5. メディアから学ぶ日本語④ 6. メディアから学ぶ日本語⑤ 7. メディアから学ぶ日本語⑥ 8. メディアから学ぶ日本語⑦ 9. メディアから学ぶ日本語⑧ 10. プロジェクトの企画 11. プロジェクトの企画 12. プロジェクト発表の準備 13. プロジェクト発表・感想文 14. プロジェクト発表・感想文 15. プロジェクト発表・感想文 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 メディアの日本語から言葉の使われ方・慣用表現などを学び、学習者同士の簡単なディスカッションをおこなう。</p>		
時間外学習	復習・課題など、毎週 2 時間程度の学習を必要とする。		
教科書	毎回、教材を配布する。		
参考書	参考書は指定しない		
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加 (20%)、プロジェクト (30%)、 その他課題 (20%)、期末試験 (30%)		
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル (レベル 4 程度) の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧める。 出席率が 70% に満たない場合、期末試験を受ける資格はない。		

授業科目名	日本語5スピーキング		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	前期・後期 : 月曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業では、上級レベルの学習者に求められる能力の一つとして、まとまった内容の話ができるように、日本語会話力の向上を目指す。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の段落で構成されたまとまりのある話が3分間程度できるようになる。 ・詳しい描写や複雑なことの説明、できごとの説明などができるようになる。 ・失礼にならない話し方や話題に適した話し方ができるようになる。 ・異なる考えを認めながら、よい話し手・聞き手として討論できるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 自己紹介で好印象を与えよう 3. きっかけを語ろう 4. 失くした体験を話そう 5. 町の様子を話そう 6. 動きの順序を説明しよう① 7. 動きの順序を説明しよう② 8. 中間試験 9. 趣味についてそのおもしろさを伝えよう 10. 言いかえて説明しよう 11. 比べて良さを伝えよう① 12. 比べて良さを伝えよう② 13. 与えられたテーマについて討論しよう① 14. 与えられたテーマについて討論しよう② 15. 与えられたテーマについて討論しよう③ 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 ペアやグループで会話する時間を設ける。 他の人の話し方を観察することで客観的に学ぶことができる。 日本語の発音や抑揚に慣れるため、授業や課題の中でシャドーイングを行う。</p>		
時間外学習	単語やフレーズの復習、宿題など毎週2時間程度の時間外学習を必要とする。		
教科書	その都度教材を配布する		
参考書	『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク社		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度等(30%)、中間試験(30%)、期末試験(40%)		
備考・注意事項	この授業は日本語上級レベルの学習者を対象とする。日本語4スピーキング修了(成績B以上)、あるいはプレイスメントテストでレベル5以上と判定されていることが必要である。 出席率が70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がない。 第1回目の授業で受講者を定めるため、履修希望者は必ず出席すること。		

授業科目名	日本語5 読解・作文Ⅱ		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	(前期) 水曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階7番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は上級レベルの学習者を対象にし、日本語5 読解・作文Ⅰでは扱わなかった分野の論説文を読むことにより、専門分野の論文を読むための読解力の基礎をさらに充実させることを目指す。また、日本語5 読解・作文Ⅰとは異なった作家の短編小説を読み、現代の日本文学に親しみ、論説文とは違う分野の語彙や表現の習得を目指す。さらに、論理的な文章が書けるようになることを目指す。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1200字程度の短い論説文から2000字程度の論説文へと段階的にすすみ、内容を把握し、語彙や表現を増やす。 2. 論文を読むための基礎となる文章の論理構造について学び、大意を把握し、必要な情報を読み取る。 3. 日本語で書かれた小説の内容を理解する。 4. 段落の構成について学び、文章の要約や意見文が書ける。 		
授業の内容	<p>I. 読解：各週、以下の構造に注目し、現在の日本社会で問題となっている話題に関する論説文を読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 書き言葉の特徴 2. 段落内の構造 3. アウトラインと複文 4. 文の構造と論の展開方法 1 5. 論の展開方法 2 (文末表現) 6. 要約 7. 試験 1 <p>II. 小説：各週、現代の短編小説を読み、内容を理解し、言葉や表現について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8-11. 小説 12. 試験 2 <p>III. 作文：各週、以下の文章の組み立て方や表現を習得し、作文を書く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 作文の基本 (文体と表現) と原稿用紙の使い方 14. 状況説明と意見の述べ方 15. 文章の要約のしかた <p>【学生がより深く学べるための工夫】 作文はピアリーディングによるフィードバックを行い、学生同士で学び合いができるようにする。ピアと教師両者によるフィードバックを参考にして書き直し、再提出する。</p>		
時間外学習	本文の予習・復習、作文等毎週 2 時間程度時間外学習を課す。		
教科書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語 3 論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。		
参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語 4 論文作成編』アルク		
成績評価の方法 及び評価割合	試験 1 (30%)、試験 2 (30%)、作文 (20%)、宿題(10%)、 クラス参加・態度など (10%)		
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントテストの結果による。受講者は日本語5 読解・作文Ⅰを受講している必要はないが、日本語能力試験N 1 程度の日本語能力があることが望ましい。出席率が70%以下の場合は期末試験を受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 5 文法 II		
担当教員	西島 ^{よりこ} 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 - 6 番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常会話の多様な表現、あるいは大学の講義を理解するために必要とされる表現を身に付けるため、中・上級表現文型と語彙の使い方や意味を正確に理解し、適切に運用する力をつける。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上級レベル (N2~N1) の日本語文法と語彙を習得する。 2. 類似表現の意味や使い方の違いを理解できる。 3. 類似表現の違いを理解したうえで、それらを運用できる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／比較 2. 状況 3. 例示 4. 感情 5. 基準 6. 立場 7. 結末 8. 試験 I 9. 可能・難易 10. 意志 11. 判断 12. 否定 13. 反復 14. その他 15. 試験 II <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 学習した文型を使って短文を作り、学生が互いに添削できるように板書する。誤用があれば、クラス全員で考える。それによって、日本語に対する鋭い言語感覚を身に付ける。</p>		
時間外学習	予習と復習を行う。 毎週の課題を提出する。		
教科書	教材配布		
参考書	友松悦子、『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』アルク、2010 大阪 YMCA、『くらべてわかる 日本語表現文型辞典』ジェイ・リサ-チ出版、2008 アスク出版編集部、『生きた例文で学ぶ 日本語表現文型辞典』アスク出版、2008		
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (40%)、試験 II (40%)、課題 (20%)		
備考・注意事項	この授業は上級レベルの学習者を対象とし、日本語能力試験 N 2 と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。このコースを受講できるかどうかは、プレイメントテストの結果による。 出席率が 70% に満たない場合は、期末試験を受ける資格はない。		

授業科目名	日本研究Ⅱ		
担当教員	GAIA 教員	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜 5限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは、日本語日本文化研修生を対象としており、（日本語で）論文を書き上げることを目的とする。		
具体的な 到達目標	仮説の微調整とデータの収集の微調整のやり方を習得し論文を書き上げる技術を身につける。論文の長さは1 万字前後。		
授業の内容	<p>第1 週 - 第5 週：仮説の絞り込み。 【学生がより深く学べるための工夫】 抽象的仮説から具体的表現を使用した仮説へと移行していく。その一方でデータ収集も始める。仮説が具体化していくのは通常5 月の初めから中旬にかけて。ステップ・バイ・ステップで論文指導をしていく。また、指導教員、論文支援チューター、日研生と三人がチームを組んで論文作成に当たるので安心して論文が書けるだろう。</p> <p>第6 週 - 第10 週：仮説の微調整とデータ分析。 【学生がより深く学べるための工夫】 集めたデータの中には実際に仮説の検証に必要なものとそうでないものがある。いらぬデータがなんであるのか、それは仮説がしっかりたてられているかによる。自分の立てた仮説をしっかり理解してデータ分析を行う。データ分析の記述については既にテンプレートがあるのでそれに沿ってデータ分析の箇所を書いていく。</p> <p>第11 週 - 第15 週：論文を完成させる。 【学生がより深く学べるための工夫】 アウトラインが出来上がり、それに沿って論文に文字通り肉付けしていく作業が中心となるが、仮説の採取調節とそれに基づいて論文の「はじめに」の部分などがこの段階で完成し、論文全体の完成となる。すべてステップ・バイ・ステップで進んでいくので安心して論文指導が受けられるだろう。</p>		
時間外学習	3 時間の予習と 1 時間の復習が必要である。		
教科書	なし。		
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要な参考文献リストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	論文（100%）		
備考・注意事項	論文の内容は、日研生プログラムの開始時の日研生の日本語力にあわせて設定する。		

授業科目名	大学院入学前予備教育日本語初級集中		
担当教員	GAIA 教員	所属部局	国際教育推進センター
単 位	未定	学期 曜日・時限	未定
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階		
授業のねらい	このコースは、国費留学生を対象とした初級集中日本語コースで、話す、聞く、書く、読む、の四技能を学びます。文法説明は英語で行われるために、簡単な英語力が必要となります。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な日常会話ができるようになる ・ ひらがな、カタカナ、基本漢字の読み書きができるようになる ・ 短い文章が読め、書けるようになる 		
授業の内容	<p>以下の場面で必要となる文法、表現、語彙を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶 2. 自己紹介 3. 数・時間を表す 4. 買い物 5. 予定を話す 6. 約束をする 7. 誘う 8. 場所を説明する 9. 過去のことを話す 10. 好き嫌いを表す 11. 理由を話す 12. 依頼する 13. 許可する 14. 禁止する 15. 家族紹介 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 学生は授業で扱う文法について予め文法解説を読み、基礎知識を得た上で、音声教材を利用して口頭練習を行ってから授業に参加する。授業内では実践に近い状況を設定し、教師対学生、学生対学生による会話練習を行う。</p>		
時間外学習	各課の予習・復習など毎週2時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『初級日本語げんきⅠ』(The Japan Times) 『初級日本語げんきⅠ ワークブック』(The Japan Times)		
参考書	『日本語文法辞典』 (The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト・宿題 (30%)、 会話テスト (30%)、 期末テスト (40%)		
備考・注意事項	大学院入学前予備教育の国費留学生を対象とする。		

授業科目名	日本語 1 読解		
担当教員	(未定)	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	金曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail			
授業のねらい	ひらがなとカタカナを習得させ、毎週学習する新出漢字（計 145）の習得とそれを使った基礎的文章の読解力をつけることがねらいである。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひらがなとカタカナの読み書きの習熟。 2. 毎週学習する漢字と熟語が読め書けること。 3. 簡単な和文（伝言、手紙、物語等）が読め、また短文が書けること。 		
授業の内容	<p>原則として日本語 1 の教科書「読み書き編」に従って毎週 1 課ずつ進む。 第 1 週：第 1 課はひらがなの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 2 週：第 2 課はカタカナの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 3 週：第 2 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 4 週：第 3 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 5 週：第 4 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 6 週：第 5 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 7 週：第 6 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 8 週：第 7 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 9 週：第 3 課から 8 課までの漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習。 第 10 週：第 8 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 11 週：第 9 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 12 週：第 10 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 13 週：第 11 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 14 週：第 12 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 15 週：全課の漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習。</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 学生に自身の力を知らせる為、既習漢字の練習を宿題とし毎週テストも行う。</p>		
時間外学習	毎週の新出漢字の習得には時間外の練習が不可欠なので、毎日読み書きの練習をすること。		
教科書	初級日本語（げんき）I 第 3 版（ジャパン・タイムズ社）（初版の教科書は使用できないので、必ず第 3 版の教科書を購入して下さい。）		
参考書	日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト（毎週）20% 宿題（毎週）20% 中間試験 20% 期末テスト 40% 但し、出席率 70% 以下の場合は期末テストが受けられない。		
備考・注意事項	漢字の習得には毎週授業に出て必ずその週に学習した漢字を覚えることが必須である。		

授業科目名	日本語 2 読解		
担当教員	後期：南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期：月曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail			
授業のねらい	初級前半修了程度の学習者の読解力の向上のための新たな語彙、表現、漢字の習得		
具体的な 到達目標	約 300 の基本漢字の書き方と読み方 ・ 基本漢字から派生する語彙の習得 ・ 短い文章の読解 ・ 身近な出来事についての作文		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&初級の復習 (1) 2. 初級の復習 (2) 3. 日本のおもしろい経験 (1) 4. 日本のおもしろい経験 (2) 5. 悩みの相談 6. 私が好きな所 7. まんが「ドラえもん」 8. 中間テスト 9. オノ・ヨーコ 10. 大学生活 11. 手紙とメール 12. 猫の皿 13. 厄年 14. 友美さんの日記 15. これはどんな顔？ 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 この授業では前回の授業で習った漢字のテストを行う。 また、新しく習得した語彙、表現、漢字を使用した読解、作文、会話の練習を行う。</p>		
時間外学習	課題や自主学習に週 4 時間取り組む必要がある。 予習・復習は必須。予習をしている前提で授業を進める。		
教科書	『初級日本語 げんきⅡ 第3版』(The Japan Times)		
参考書	『新漢英字典』(研究社) 『日本語基本文法辞典』 (The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加 (10%)、宿題 (20%)、小テスト (10%)、 中間・期末テスト (60%)		
備考・注意事項	出席率が 70%を割る場合は、期末テストが受けられない。 本授業計画は受講者の理解度・習熟度に応じて、変更される可能性がある。		

授業科目名	日本語 3 読解 I		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期：木曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	言葉を覚えながら、初中級レベルの文章が理解できるようになることを目指す。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成を理解する。 ・ 文章の中から必要な情報をすばやく探す。 ・ 接続詞や副詞の適切な使い方を学ぶ。 ・ 日本の生活や文化について学ぶ。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 読み物① 3. 読み物② 4. 読み物③ 5. 読み物④ 6. 読み物⑤ 7. 読み物⑥ 8. 中間試験 9. 読み物⑦ 10. 読み物⑧ 11. 読み物⑨ 12. 読み物⑩ 13. 読み物⑪ 14. 読み物⑫ 15. 復習 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 ペアやグループで内容について話し合う時間を設ける。</p>		
時間外学習	復習や小テストの準備などの時間外学習を必要とする。		
教科書	その都度教材を配布する		
参考書	参考書は指定しない		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、小テスト等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。授業は日本語で行う。 出席率が70%を割った場合は期末テストを受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 3 作文 I		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期： 金曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を使用し、身近なトピックについて 600 字 程度の作文が書けるようになる。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 700 字程度の漢字が読み書きできるようになる。 ・ 限定されたテーマで辞書なしで 600 字程度の作文が書けるようになる。 ・ 上記テーマで会話が数分持続できるスキルが身に着く。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと自己紹介 2. 買い物 3. 旅行 4. 文法の復習と読みもの 5. 健康管理 6. 食と調理 7. スポーツ 8. 文法の復習と読みもの 9. 中間テスト 10. ふるさと自慢 11. 結婚 12. 祭り 13. 文法の復習と読みもの 14. スピーチ作成 15. スピーチ発表 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 会話から出発し作文へと向かう方法を取る。毎回小さな作文課題を課し作文技術を少しずつ持続的に習得していく。</p>		
時間外学習	授業後の復習、並びに、作文の作成は必須。		
教科書	澤田幸子他 (2011) 『日本語おしゃべりのたね』 第 2 版、東京：スリーエーネットワーク。		
参考書	必要あれば配布。		
成績評価の方法 及び評価割合	課題 (20%)、スピーチ (20%)、中間テスト (20%)、期末テスト (40%)		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル 3 以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70% 以下の場合は期末 試験を受けられない。		

授業科目名	日本語 4 文法 I		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期：月曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	1 年を通じて文法 I と文法 II を履修することで、中級レベル文法の理解を深め、正しく使えるようにする。		
具体的な 到達目標	気持ちを表す助詞や、硬い文章、丁寧な表現などを理解し、適切に使えるようになることを目指す。		
授業の内容	<p>日本語 4 文法 II と同じ教科書を使い、この授業では 1～6 課と 17～20 課を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. いろいろな働きをする助詞 3. 話題の取り立て 4. 助詞の働きをする言葉 1 5. 助詞の働きをする言葉 1、2 6. 助詞の働きをする言葉 2 7. 助詞の働きをする言葉 3 8. 中間試験 9. 名詞化の方法① 10. 名詞化の方法②／語彙を広げる① 11. 語彙を広げる②／硬い文章① 12. 硬い文章②／ていねいな言い方① 13. ていねいな言い方② 14. 会話・文章のまとめ① 15. 会話・文章のまとめ② 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 習った文法を使って、その場で実際に例文を作ってみる時間を設ける。</p>		
時間外学習	宿題・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を必要とする。		
教科書	『中級日本語文法要点整理ポイント 20』スリーエーネットワーク社		
参考書	『日本語基本文法辞典』『日本語文法辞典(中級編)』ジャパントイムズ		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取り組み・態度等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)		
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイメントテストでレベル 4 と判定された者を対象とする。少なくとも漢字 500 字以上の知識が必要である。授業は日本語でおこなう。出席率が 70% を割った場合は期末テストを受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 4 読解 I		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 金曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 - 6 番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業のねらいは、さまざまなテーマのエッセイや新聞記事、データなどを読みながら、大学で必要なアカデミックな文章を読むための読解力を身に付けることである。また、読解を通して、日本社会に関する知識を得るだけでなく、社会的なテーマについて自ら考える力を身に付けることである。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的テーマに関するまとまった文章を読むことができる。 2. 文章を読んで、未知の情報やデータを正確に理解することができる。 3. 文章を読んで、得た知識を身近なこととしてとらえ、考えが深められる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 人と出会う① 3. 人と出会う② 4. 違いを考える① 5. 違いを考える② 6. 生活になじむ① 7. 生活になじむ② 8. 試験 I 9. 子どもと教育① 10. 子どもと教育② 11. 子どもと教育③ 12. 若者の感性① 13. 若者の感性② 14. 若者の感性③ 15. 試験 II <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 1つのテーマにつき、追加の読み物やデータで視野を広げる。また、それぞれのテーマに関して、ディスカッションすることで身近な問題としてとらえる。</p>		
時間外学習	毎週、予習と課題を行う。 単語クイズのため、復習をする。		
教科書	教材配布		
参考書	近藤安月子、『中級日本語教科書 わたしの見つけた日本』東京大学出版、2013 近藤安月子、『中・上級日本語教科書 日本への招待』東京大学出版、2008		
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (35%)、試験 II (35%)、課題 (15%)、単語クイズ (15%)		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末テストを受ける資格はない。		

授業科目名	日本語 4 作文 I		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 火曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業のねらいは、大学生活で必要な作文技術を向上させ、大学生らしいレポートや発表原稿、メールなどが書けるようになることである。そのために、状況にふさわしい表現や文型を学ぶ。また、論理的な文章の書き方を知る。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 状況（メール・レポート・発表原稿）に応じて文章を書くことができる。 2. 身近なことであれば、やや複雑なことでも説明できる。 3. 800字以上の論理的なレポートが書けるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／自己紹介文 2. 故郷紹介 3. メールの書き方①：形式的なメール、基本的表現 4. メールの書き方②：状況に応じたメール 5. お気に入りをお勧めする 6. 助言する：大分での留学 7. ピアラーディング① 8. 書き言葉で書く 9. 違いを説明する 10. 出来事を伝える 11. 由来や意味を説明する 12. 意見を述べる 13. 論理的なつながりを考える 接続詞と指示詞 14. レポートの基本的知識 15. ピアラーディング②／総括 <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 学習したその日から使える実用的な表現を多く学ぶ。場面や条件を設定して、具体的な文章を毎週書くことで、実践的な練習を重ねる。また、ピアラーディングを行うことで、クラスメートが互いに文章技術を学び、レベルアップを図る。</p>		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。		
教科書	教材配布		
参考書	石黒圭、『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク、2009 友松悦子、『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク、2008		
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート（30%）、期末レポート（30%）、各課題（40%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末レポートを提出する資格はない。		

授業科目名	日本語 4 応用 I		
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期：木曜 1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で習得した文法、語彙、そして会話などの知識や能力を実践的な文脈に応用させることを目的としている。また様々なトピックについて日本語で議論や分析を行うことでそのテーマの理解を深めることを目指す。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で簡単なディスカッションが行えるようになる。 ・日本語で自己表現が行えるようになる。 ・日本の文化や社会についての理解を深める。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. メディアから学ぶ日本語① 3. メディアから学ぶ日本語② 4. メディアから学ぶ日本語③ 5. メディアから学ぶ日本語④ 6. メディアから学ぶ日本語⑤ 7. メディアから学ぶ日本語⑥ 8. メディアから学ぶ日本語⑦ 9. メディアから学ぶ日本語⑧ 10. プロジェクトの企画 11. プロジェクトの企画 12. プロジェクト発表の準備 13. プロジェクト発表・感想文 14. プロジェクト発表・感想文 15. プロジェクト発表・感想文 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 メディアの日本語から言葉の使われ方・慣用表現などを学び、学習者同士の簡単なディスカッションをおこなう。</p>		
時間外学習	復習・課題など、毎週 2 時間程度の学習を必要とする。		
教科書	毎回、教材を配布する。		
参考書	参考書は指定しない		
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加 (20%)、プロジェクト (30%)、 その他課題 (20%)、期末試験 (30%)		
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル (レベル 4 程度) の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧める。 出席率が 70% に満たない場合、期末試験を受ける資格はない。		

授業科目名	日本語5読解・作文I		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	(後期)火曜 1限
研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階7番	097-554-7516	msakai@oita-u.ac.jp
授業のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上級レベルの学習者を対象に、レポートや学術論文などを読むために必要な文法知識や文章構造に関する知識を学びながら、論文を独力で読めるようになるための基礎的読解力を養成する。 2. 短編小説を読み、現代の日本文学に親しむことと、論説文とは異なった分野の語彙や表現の習得を目指す。 3. 専門的な文章を書くために必要な作文の基礎知識も学ぶ。 		
具体的な到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1200字程度の短い論説文から、2000字程度の論説文へと段階的に進み、内容を理解するとともに、論文を読むために必要な文法知識や語彙、表現を増やす。 2. 文章の論理構造について学び、大意を把握したり、必要な情報を素早く読み取る。 3. 日本語で書かれた小説を読み、内容を説明できる。 4. 段落の構成について学び、わかりやすい説明文が書ける。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> I. 読解：各週、以下の文章の論理構造に注目し、現在の日本社会で問題となっている話題に関する論説文を読む。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 書き言葉の特徴 2. トピックとメインアイデア、助詞相当語 3. 中心文と支持文、指示表現 4. 引用、接続表現と予測 5. 論の方向を示す表現、事実と筆者の考え 6. 段落構成 7. 試験1 II. 小説：各週、現代の短編小説を読み、内容を理解し、言葉や表現について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 8-11. 小説 12. 試験2 III. 作文：各週、以下の文章の組み立て方や表現を習得し、作文を書く。 <ol style="list-style-type: none"> 13. 作文の基本と原稿用紙の使い方 14. 課題の提示のしかた 15. 定義と分類のしかた <p>【学生がより深く学べるための工夫】 作文はピアリーディングによるフィードバックを行い、学生同士で学び合いができるようにする。ピアと教師両者によるフィードバックを参考にして書き直し、再提出する。</p>		
時間外学習	本文の予習・復習、作文等毎週2時間程度時間外学習を課す。		
教科書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語3 論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。		
参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』アルク		
成績評価の方法 及び評価割合	試験1(30%)、試験2(30%)、作文(20%)、宿題(10%)、 クラス参加・態度など(10%)		
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントテストの結果による。また、受講者は日本語能力試験N1程度の日本語能力があることが望ましい。出席率が70%以下の場合は期末試験を受ける資格がない。		

授業科目名	日本語 5 文法 I		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 金曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 - 6 番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常会話の多様な表現、あるいは大学の講義を理解するために必要とされる表現を身に付けるため、中・上級表現文型と語彙の使い方や意味を正確に理解し、適切に運用する力をつける。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上級レベル (N2~N1) の日本語文法と語彙を習得する。 2. 類似表現の意味や使い方の違いを理解できる。 3. 類似表現の違いを理解したうえで、それらを運用できる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／同時 2. 起点・終点 3. 付帯状況 4. 時間的前後 5. 順接 6. 条件 7. 接続 8. 試験 I 9. 当然 10. 強制 11. 心情 12. 様子 13. 程度 14. その他 15. 試験 II <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 学習した文型を使って短文を作り、学生が互いに添削できるように板書する。誤用があれば、クラス全員で考える。それによって、日本語に対する鋭い言語感覚を身に付ける。</p>		
時間外学習	予習と復習を行う。 毎週の課題を提出する。		
教科書	教材配布		
参考書	友松悦子、『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』アルク、2010 大阪 YMCA、『くらべてわかる 日本語表現文型辞典』ジェイ・リサーチ出版、2008 アスク出版編集部、『生きた例文で学ぶ 日本語表現文型辞典』アスク出版、2008		
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (40%)、試験 II (40%)、課題 (20%)		
備考・注意事項	この授業は上級レベルの学習者を対象とし、日本語能力試験 N 2 と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。このコースを受講できるかどうかは、プレイメントテストの結果による。 出席率が 70% に満たない場合は、期末試験を受ける資格はない。		

授業科目名	レポート・論文作成		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 木曜 3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業の目標は大学生として適切なレポートや論文が書けるようになることである。そのためにレポートや論文の特徴を知り、適切な語彙や文体を学ぶ。また、テーマの選び方や文章の構成にも目を向け、興味深く、説得力のあるレポートを書く。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 話し言葉と書き言葉の語彙や文体の違いを認識し、使い分けることができる。 2. レポートを書くために必要な表現文型を使用できるようになる。 3. 序論・本論・結論の構成で5000字以上のレポートを書くことができる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／レポート・論文を書く前に 2. 文章の種類と構成 3. レポート・論文の基本（硬い文章表現） 4. 賛否型レポート 5. 引用のルールと方法 6. データの提示と分析① 7. データの提示と分析② 8. レポート論文の構成 9. 序論の書き方 10. 本論の書き方① 説明モード 11. 本論の書き方② 論証モード 12. 結論の書き方 13. 研究計画書の書き方 14. 文章の明確さ 15. 文章の結束性 <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 教員は、提出された課題について、最初、誤用や問題のある個所を指摘するとどめ、学生自身に誤用分析および添削をさせてもう一度提出するよう促す。再提出された課題は添削しコメントを加えて返却する。</p>		
時間外学習	予習を行う。また、毎月課題があるので、授業で学んだことを復習し、レポートを作成する。		
教科書	教材配布		
参考書	田中真理、『Good Writing へのパスポート』くろしお出版、2014 二通信子、『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会、2009 浜田麻里、『論文ワークブック』くろしお出版、1997		
成績評価の方法 及び評価割合	各課題レポート（各20%×3回）、期末レポート（40%）		
備考・注意事項	超級レベルの日本語学習者を対象に、大学の演習で必要とされるレポートを書く技術の向上を目指す。受講者数は20名程度とする。このコースを受講できるかどうかは、プレイメントテストの結果による。 出席率が70%に満たない場合は、期末レポートを提出する資格はない。		

授業科目名	日本研究 I		
担当教員	GAIA 教員	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 金曜 5限
担当教員の 研究室 電話・e-mail			
授業のねらい	このコースは、日本語日本文化研修生を対象としており、（日本語で）論文を書くにあたっての下準備を行うことにある。		
具体的な 到達目標	論文を作成する上にあつて最も重要な仮説の設定と仮説の検証に当たつてどのようなデータを収集すべきなのかという2 点において明確な計画を立てることにある。		
授業の内容	<p>第1週 - 第5週：研究分野の絞り込み 【学生がより深く学べるための工夫】 日研究生が本当に研究したい分野とは何なのか、ディスカッションしながら絞り込んでいく。日研究生自身が選んだトピックは、最初は漠然としていているので、そのトピックを選んでどのようなことが論文に書けるのか、データは実際に集まるのか、等をテーマに論文書きのプロセスをシミュレーションしながらディスカッションをしていく。</p> <p>第6週 - 第12週：論文の構造も視野に入れた研究テーマの絞り込み 【学生がより深く学べるための工夫】 研究分野が絞りこめてきたら今度は研究テーマを明確化していく。そのプロセスで一番大切なのは仮説の設定である。論文書きで最も大変なのはこの仮説の設定であるが、これも、シミュレーションをしながらおこなう。仮説を立ては少量のデータを集め分析を行い、仮説が実際に証明されそうであるかを考えてみる。そうやって仮説の修正とデータ収集の修正を行いながら、どんな仮説を立ててどのようなデータを集めれば学問的貢献が行えるのかを徹底してディスカッションする。</p> <p>第13 週 - 第15 週：アウトライン作成 【学生がより深く学べるための工夫】 これまでのディスカッションを踏まえ、論文のアウトラインを作成する。（これに基づいて次の学期で論文を書いていく。）</p>		
時間外学習	3 時間の予習と 1 時間の復習が必要である。		
教科書	なし		
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要な参考文献リストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	論文のアウトラインの提出（50%）、アウトラインの口頭説明（50%）。		
備考・注意事項			

2. グローバル科目

(留学生・日本人学生向け科目)

(使用言語：日本語／日本語と英語／英語)

授業科目名	日本語文法分析		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 火曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常接している日本語をさまざまな観点から観察し、問いを立て、検討する。その作業を通じて、日本語を言語として深く理解すると同時に、日本語に限らず言語一般の特徴を分析する力を養う。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語学の基本的な考え方を学び、語や文の分析に応用できる。 2. 日本語と他の言語を比べ、共通点と相違点が説明できる。 3. 外国語としての日本語を効果的に教える方法を提案する。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：日本語文法分析とは？ 2. 言語学から日本語を分析する① 言語の特徴 3. 言語学から日本語を分析する② 言語の機能 4. 世界における日本語の位置づけ 5. 日本語の文法的特徴① 基本文型/助詞/自・他動詞 6. 日本語の文法的特徴② 受け身/授受表現/敬語 7. 日本語の文法的特徴③ 述語構成 8. 語用論から見る日本語① 9. 語用論から見る日本語② 10. 筆記試験 11. 日本語教授法① 教材分析 12. 日本語教授法② 教案作成 (1) 13. 日本語教授法③ 教案作成 (2) 14. 日本語模擬授業① 15. 日本語模擬授業② <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 日本人学生と留学生がグループとなり、日本語を言語学のさまざまな観点から分析する。その結果を発表したり、日本語を教える模擬授業を体験したりすることで、自ら言語を客観的に分析する力を養う。</p>		
時間外学習	毎週出される課題を行う。 グループ発表や模擬授業の準備をする。		
教科書	教材配布		
参考書	原沢伊都夫、『日本語教師のための入門言語学—演習と解説』スリーエーネットワーク、2016／伊坂淳一、『新ここからはじまる日本語学』ひつじ書房、2016／荒川洋平、『日本語教育のスタートライン』スリーエーネットワーク、2016／荒川洋平、『日本語教師のための応用認知言語学』凡人社、2009		
成績評価の方法 及び評価割合	筆記試験 (50%)、模擬授業 (30%)、課題 (10%) クラス参加・態度 (10%)		
備考・注意事項	出席率が70%に満たない場合は、期末テストを受ける資格はない。 留学生は日本語能力試験 N2 以上の文法知識があることを前提とする。		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 3		
担当教員	藤田 明美	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期： 月曜 3 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Akemi1027f@gmail.com		
授業のねらい	このコースは江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、主に経済に関する ニュースを聞き取り、新聞記事を読み解く能力の習得を目指すものである。さらに、それらの情報を用いて意見を述べる能力の習得も目指す。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済に関するニュース、新聞記事の内容を理解することができるようになる。 ・ ニュース、新聞記事の内容を整理し、要点をまとめることができるようになる。 ・ ニュース、新聞記事の内容を正確に分かりやすく伝え、さらに議論することができるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースの概要説明 2. 情報選択の重要性 3. 新聞記事を読む 4. 新聞記事の要約 5. 新聞記事の批評 6. ニュースを聞く 7. ニュースの要約 8. ニュースの批評 9. -13. チームで情報を選び、意見を述べる 14. 発表 15. まとめ、振り返り <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 インターネットニュースなどから適切な情報を選択し、調査する。 チームによるディスカッション及びディベートの実施。発表を録画し、ルーブリックを用いた自己評価、フィードバックを行う。</p>		
時間外学習	日本の様々な社会・経済問題に関心を持ち、ニュース、新聞等に触れる習慣を身に付けること。		
教科書	経済問題を扱ったニュースなどの動画、新聞記事、ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（15%）、聴解（10%）、読解作文（15%）発表（15%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 4		
担当教員	藤田 明美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単 位	2	学期 曜日・時限	前期：金曜 2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Akemi1027f@gmail.com		
授業のねらい	このコースは江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、企業分析を通して、ビジネス場面に必要な会話能力やライティング能力の習得を目指すものである		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業について客観的に分析し、丁寧に伝えることができる。 ・様々なリソースを用いて必要な情報を集め、まとめることができる。 ・ビジネス場面におけるマナー、会話、ライティングスキルを身に付ける。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースの概要説明 2. 3. 産業・職種・企業について 4. 調査対象（企業）の選択 5. チームによる企画書の作成 6. 情報収集 7. 敬語とマナー 8. ビジネスメールを書く 9. メール交渉 10. 情報のまとめと報告書の作成 11. 中間報告 12. 発表の準備、発表の仕方 13. 情報整理 14. プレゼンテーション 15. まとめ、振り返り <p>【学生がより深く学ぶための工夫】 チームによる企業調査、交渉、企業訪問とインタビューの実施。 チームでの報告書作成に加え、個人レポートも作成する。</p>		
時間外学習	日本の社会や企業に関心を持ち、情報を集める。また、改まった場面でのコミュニケーションスキルを身に付け、積極的に実践す。		
教科書	ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度（10%）、課題（20%）、プレゼンテーション（25%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授業科目名	狂言で大分を学ぶ		
担当教員	南里敬三,西島順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 火曜 4限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階5番 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp 教養教育棟 3階6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本の伝統芸能である狂言の基本をマスターし、大分地域を題材とするシナリオを作成しそれを実際に能の舞台で演じることで、伝統的日本と現代の大分を深く理解できる人材を育てる。		
具体的な 到達目標	狂言の歴史が語れるようになる。狂言の発声・動作の基礎を理解し、実際に能楽堂の舞台で演じることで日本の伝統芸能を体験する。大分地域の特定の文化・社会的特徴に精通し、リサーチに基づいた狂言のシナリオが書けるようになる。		
授業の内容	第1週：オリエンテーションと狂言の歴史・プロット 第2週：狂言の基本動作 第3-6週：狂言のプロット 第6週：狂言ワークショップ（能楽堂） 第7-12週：シナリオ作成 第13-15週：シナリオ修正・演技指導 第16週：演技審査（能楽堂） 【学生がより深く学べるための工夫】 座学で知識を得るだけでなく、プロの狂言師の指導を受けつつ実演するという機会を与える。オリジナルのシナリオ作成のために大分に関する情報を積極的に探索させる。		
時間外学習	狂言の発声・基本動作・演技については週2～4時間の練習時間が必要。シナリオ作成のための取材、及び、シナリオ作成は週3時間程度課外活動が必要。		
教科書	授業中にプリントを配布する。		
参考書	授業中に参考図書のリストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	レポート：狂言とは（10%）、プロットアウトライン（5%）、シナリオ提出1（5%）、シナリオ提出2（5%）、シナリオ提出3（5%）、シナリオ提出4〔最終版〕（10%）、中間演技発表（10%）、最終演技（50%）〔最終演技内わけ：台詞の暗記20%、演技15%、シナリオ15%〕。		
備考・注意事項	70%以上の出席がない場合は不合格とし第15週の演技審査は受けられない。正規生の参加は10名を上限とし、受講者全員の制限を20名とする。授業でのパフォーマンスを毎回2%とする。また参加者全員5月の狂言ワークショップの参加を必須とする。		

授業科目名	歩いて楽しい街：大分と別府		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜 3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養棟 3階 5号室 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	大分市並びに別府市を人が集まる都市にする方法を考察する。考察の対象はJR大分駅周辺、JR別府駅東口前の市街地。		
具体的な 到達目標	このコースでは、留学生とのディスカッションを通じて、大分市と別府市の現状を考察し、面白い街作りの提案ができるようになる。ディスカッションのトピックは次の通り。(1)子育てに配慮したまちづくりの意義(2)大分市街地の特徴、(3)JR別府駅東口前の市街地の特徴、(4)バブル経済崩壊後の観光産業の変化。		
授業の内容	<p>第1回：オリエンテーション、グループを作り仲間意識を育てる</p> <p>第2回：大分市中心市街地の構造と現状</p> <p>第3回：明石市の子育て支援を考える</p> <p>第4回：大分市中心市街地の拠点分析</p> <p>第5回：研修旅行予備調査</p> <p>第6回：研修旅行1（大分市内を予定）</p> <p>第7回：プレゼン1</p> <p>第8回：観光の在り方の変化と別府</p> <p>第9回：別府市東口駅前の文化財・B級グルメ・温泉調査</p> <p>第10回：東口駅前地区に人を呼び込むには</p> <p>第11回：研修旅行2（JR別府駅東口前の市街地を予定）</p> <p>第12回：プロモーション計画立案</p> <p>第13回：プレゼン2</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】</p> <p>コース参加者の知識習得の進捗状況はクラスディスカッションによってモニタリングされ、必要に応じて授業の進行速度を変える。授業の理解が十分でないと判断された場合は簡単なクイズ等で落ちこぼれ防止を図る。また、別府と大分の市街地を実際に訪れることで、授業で得た知識を確認することが出来る。</p>		
時間外学習	それぞれの授業のトピックに関する事前調査(15h)。大分駅周辺、大分市内の商店、及び、そこで販売されている商品の調査(10h)。大分市美術館、大分県立美術館、南蛮ブンゴ交流館等の拠点調査(10h)。授業でのディスカッションのまとめ(5h)。プレゼン準備(10h)。		
教科書	プリントを授業で配布する。		
参考書	授業中に参考文献のリストは配布される。		
成績評価の方法 及び評価割合	発表1(25%)、発表2(35%)、課題(6%×5回)、授業でのディスカッションへ積極的参加(10%)		
備考・注意事項	このコースは日本語と英語で行われるが、主言語は日本語である。単位取得には70%以上の授業参加が必要。2回の研修旅行の参加は必須。研修旅行1回は授業2回分に相当する。		

授業科目名	大分地域理解		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	前期 水曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は複数の文化や言語の視点をもって、大分の社会や歴史を学ぶ。グループワークやフィールドワークを通じて、大分を深く理解するだけでなく、異なる背景を持つ日本人学生と留学生が議論し、多様な文化や考え方から地域の問題の解決策を考察する。また、複数の言語を用いて、インターネット上に活動内容を報告することを通して、多様な言語に接し、それらへの関心を高める。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大分という地域が持つ歴史や社会問題を理解し、その解決策を提案する。 2. それらの活動を通して、異なる文化や言語を持つ者が議論し、相互理解する。 3. 母語+1言語で活動することにより、言語の多様性を知る。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／大分の基本的知識 ＜大分の過疎化問題＞ 2. 過疎化問題 3. 取材準備（他地域・他国との比較を通して課題を明確化） 4. 安心院訪問（大分県の過疎地域を訪問；授業2回分） 5. ディスカッション（過疎問題の解決策） 6. オンラインマガジンの作成と発信 ＜大分のキリシタン史＞ 7. 大分のキリシタンの歴史 8. 取材準備（他地域・他国との比較を通して課題を明確化） 9. 竹田市訪問（竹田洞窟礼拝堂、竹田キリシタン研究所・資料館；授業2回分） 10. ディスカッション（多様性を認める社会の在り方） 11. オンラインマガジンの作成と発信 ＜まとめ＞ 12. 最終ディスカッション 13. 発表 <p style="text-align: right;">* 予定は変更することもある</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 単一の言語・文化にとらわれない授業を展開する。学生は複言語・複文化主義を理解したうえで活動することで、多様な考え方や文化と対峙する柔軟性を高める。</p>		
時間外学習	予習、報告、フィールドワークのための準備、発表のための準備を行う。		
教科書	教材配布		
参考書	参考資料は課題ごとに Moodle に掲載する		
成績評価の方法 及び評価割合	フィールドワーク参加（10%×2）、ディスカッション（10%×2）報告（10%×2）、最終発表とレポート（30%）、クラス参加・姿勢（10%）		
備考・注意事項	積極的に課題に取り組む学生を対象とする。発表時間を確保するため、受講者数は30名を上限とする。 留学生は中級以上の日本語学習者を対象とする。中級レベルの学習者は、漢字500字、語彙3000程度の知識があることを前提とする。 出席が70%に満たない学生は、最終課題への参加資格はない。		

授業科目名	日本ポピュラー・カルチャー研究		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期・曜日・時限	前期：木曜日（4限）
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3階 3-4 番 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	<p>「ポピュラー」という単語はしばしば「Low=ロウ」（質の低い）というように解釈されたが、ポピュラー・カルチャーは社会・文化を分析する上で欠かすことのできない研究分野として注目されてきている。このコースでは日本のポピュラー・カルチャー（例 アニメ、アイドル、ラノベ、映画、2.5次元等）がどのように現代日本社会の特徴と問題を扱っているかについて考察する。そのうえで、日本社会、ならびに海外における日本のポピュラー・カルチャーの受容について議論する。この授業では各時代やジャンルを代表的する作品の分析を行う。</p>		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポピュラー・カルチャーを通して日本社会の在り方に精通する。 2. 日本のポピュラー・カルチャーのグローバル化を通して文化を比較する視点を養う。 3. ポピュラー・カルチャー研究を通して基本的な理論の枠組みに精通する。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) コースの概要について（ポピュラー・カルチャーとは？） 2) 浮世絵（前近代のポピュラー・カルチャー） 3-5) アニメ 6-7) ポップミュージックとアイドル 8) ライトノベル 9-11) 映画 12) 声優 13) 2.5次元 14-15) グループ・プロジェクト <p>【学生がより深く学べるための工夫】 この授業はレクチャー、（グループ）ディスカッション、プロジェクト準備・発表を中心として構成される。</p>		
時間外学習	指定された文献を事前に熟読し、主題や論点について、要約を行っておくこと。課題や自主研究に週4時間取り組む必要がある。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	第一回授業で配布。		
成績評価の方法 及び評価割合	<p>授業への積極的な参加 20%</p> <p>プロジェクト 30%</p> <p>期末試験 50%</p>		
備考			

授業科目名	日本の美学とファッションメディア研究		
担当教員	南里敬三	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期・曜日・時限	前：水（3限） 後：金（4限）
担当教員の研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この科目は、経済・大衆文化（特に音楽）の歴史という視点から、日本の20歳±3歳の女子のファッションが1920年から2020年までの100年間どう変容してきたのかを概観することを目的とする。但し、第二次大戦後の若者文化の発生形態に関しては男子ファッションの変容も概観する。		
具体的な到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本における過去100年の女子キレイ目ファッションの変容が説明できるようになる。 2. 経済状況とファッションの華やかさとの関係が説明できるようになる。 3. 米英を中心とする大衆音楽（ロックとヒップホップ系）の歴史が日本のファッションとどのような関係をもっているのかが理解できるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、ファッション・大衆音楽の基礎 2. ブルースと黒人の歴史、日本の代表的ファッション 3. モガファッションの誕生（スウィングジャズの時代） 4. ジーンズの歴史（反戦フォーク運動の時代） 5. 男子キレイ目アイビールックの誕生（ビートルズとモダンジャズの時代） 6. まとめとディスカッション1 7. 黒の革ジャンスタイルの歴史（ロックンロールの時代） 8. 女子キレイ目ファッションの確立（ソフトロック・ニューミュージックの時代） 9. 高校生の野望シブカジファッション（ユーロビート・ヒップホップの時代） 10. まとめとディスカッション2 11. やりすぎのギャルファッション（ユーロビートの時代） 12. コンサバファッションの成立（歌姫の時代） 13. ロリータファッションの成立過程と地雷ファッションの発生 14. 女子ハードロッカーと地下女子アイドルの衣装（ハードロック・ヘビメタ、青春歌の時代） 15. まとめディスカッション3 16. 期末試験 <p>【学生がより深く学べるための工夫】</p> <p>この授業は3回のレクチャーの後1回のチュートリアル（「まとめとディスカッション」）を行い受講者がレクチャーの内容を理解できているか確認を行う。また、レクチャーの後も15分程度のまとめの時間を取り、内容確認の為にクイズに答えてもらい、授業内容の定着を図る。</p>		
時間外学習	授業中紹介されたコーデ、楽曲はYouTube等で必ず確認する事。復習には毎週4時間程度を必要とする。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	授業中に参考文献のリストを配布。		
成績評価の方法及び評価割合	レクチャーのまとめ3回（10%×3） 積極的なディスカッションの参加 20% 期末試験 50%		
備考	<u>この授業の使用言語は主に英語です。サマリと期末試験の言語は英語か日本語が選べます。授業でのディスカッションは積極的に英語で行いましょう。</u>		

授業科目名	日本語表現技術		
担当教員	西島 <small>よりこ</small> 順子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 火曜 4限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階3 - 6番 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業のねらいは、積極的に議論に参加できるようになることや、伝えたいことを的確に伝えられるようになることである。内容を精査して、論理的に話す技術も身に付ける。また留学生と日本人学生が共にディスカッションや発表準備をすることで、相互理解を促進する。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的に応じてパワーポイント等を活用しフォーマルなスピーチができる。 2. 論理的で説得力のある話ができるようになる。 3. 多様な背景を持つ人と協力し合い、建設的なディスカッションができる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／効果的な自己紹介 2. ディスカッション① ディスカッションの手法 3. ディスカッション② 4. プレゼンテーションの手法 5. プレゼンテーションの準備① 6. プレゼンテーションの準備② 7. 発表① 8. 発表② 9. 論理的に話す① 論理的で説得力のある話し方 10. 論理的に話す② 論点を外さず議論する 11. 対立討論（ミニディベート）の手法 12. 対立討論の準備① 13. 対立討論の準備② 14. 試合① 15. 試合② <p>【学生がより深く学ぶための工夫】</p> <p>どのような活動においても、質問や意見を出し合い積極的にディスカッションをする。また、学生は自己評価や相互評価をするだけでなく、振り返りの時間に、グループ内で良かった点と改善すべき点を話し合い、内省する。教員は学生に話し方の改善点をフィードバックする。</p>		
時間外学習	原則として毎週課題をする。 発表のために授業外でグループ活動を行う。十分な準備時間を確保する。		
教科書	教材配布		
参考書	中澤務、『知のナビゲーター』くろしお出版、2007 東海大学留学生教育センター、『口頭発表と討論の技術』東海大学出版会、1995 木南法子『論理的で正しい日本語を使うための技術とトレーニング』ベレ出版、2013		
成績評価の方法 及び評価割合	グループディスカッション（20%）、プレゼンテーション（30%）、対立討論（30%）、 課題提出（10%）、期末レポート（10%）		
備考・注意事項	積極的に課題に取り組む学生を対象とする。発表時間を確保するため、受講者数は30名を上限とする。 出席率が70%に満たない場合は最終課題の参加資格はない。 留学生は中級以上の日本語学習者を対象とする。中級レベルの学習者は、漢字500字、語彙3000程度の知識があることを前提とする。		

授業科目名	日本語学Ⅰ		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	(後期) 木曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟3階7番 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語の音声、語彙、文法、方言などの各分野について、基本的なしくみを理解し、自ら分析できる力を養い、日本語に対する知識と興味を深めることを目的とする。日本語上級レベルの留学生と、日本語を客観的に学びたい日本人学生を対象とした授業である。		
具体的な 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の音声、語彙、文法、方言などについて、詳しく観察を進め、規則や特徴について考えられるようになる。 2. 興味のある分野について、自ら調査し、結果について考察できるようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 概略 「日本語学」とはどんなもの？ 2 世界の言語と日本語 日本語は特殊な言語？ 3 文法 「ラ抜き言葉」は間違った日本語？ 4 音声 なぜ「な`」はないか。 5 音声 「大型」は「オオガタ」。では「大風」は「オオガゼ」じゃない？ 6 アクセント 「このハシを渡るべからず」 7 語彙 「マツジュン」はなぜ「マツジュ」と呼ばれない？ 8 方言 「一回生」って何？ 9 中間試験 10 語彙 「哲学」と「ナイター」の共通点？ 11 位相 「わしは博士じゃ」 12 文法化 「好きになっちゃった」に込められたキモチ 13 音声構造 「大分」「大学」と「大分大学」の区別ができる？ 14 グループ発表 15 グループ発表とまとめ <p>【学生がより深く学べるための工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各テーマに関連した読み物を配布し、内容についてグループで教え合い、意見交換を行うようにする。 ・各テーマに関連した学習者自身の見解や体験について書く宿題を課し、グループでシェアし、優れたものは全体に紹介する。 ・学習者自身で事例を集め、言語規則や特徴を見つけられるような課題を扱う。 		
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では留学生と日本人学生とのグループディスカッションを行うため、予習と毎週出される課題に取り組むことが前提となる。 ・興味のある分野について、自ら調査した結果をレポートにまとめ、発表する。 		
教科書	ハンドアウトを配布する。		
参考書	衣畑智秀 (2023) 『基礎日本語学 第2版』ひつじ書房 庵功雄 (2012) 『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』スリーエーネットワーク		
成績評価の方法 及び評価割合	中間試験 (40%)、グループプロジェクト (30%)、課題 (20%)、クラス参加、態度など (10%)		
備考・注意事項	日本語能力試験N1合格レベル以上の留学生と、日本人学生を対象とした授業である。日本語に興味があり、積極的に課題に取り組む学生が受講できる。		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 1 (時事問題 I)		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター (非常勤)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 月曜 3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、日本のマスコミによる情報拡散システムの特徴、マスコミと政府の関係、マスコミの報道姿勢を理解した上で、新聞に掲載される犯罪・政治・財政記事を読みこなすスキルを身に付けることを目的とする。		
具体的な 到達目標	(1) 日本の新聞が掲載する犯罪記事、政治記事、財政政策に関する社説がどのような段落構成になっているのか理解できるようになる。(2) 社会部記者と警察・検察との関係が理解できるようになる。(3) 政治記者と政治家・官僚の関係が理解できるようになる。(4) 日本のマスコミ産業の特徴が語れるようになる。		
授業の内容	1.オリエンテーション、日本のマスメディア概観 2.記者クラブ 3.出来事記事と意見記事 4.犯罪記事の特徴 5.政治記事の特徴 6-7.思想的立ち位置と社説 8.経済談義の社説と財務省 9.不偏不党 10.発表 1 11.日本の政党とその財政政策 12.国債発行と財政破綻論 13.分析プロジェクト立案 14.ワークショップ 15.発表 2 【学生がより深く学べるための工夫】 授業では今のマスコミに絶えず焦点を当て、ことあるごとにマスコミのタイムリーな動向をネット検索し、リアルなマスコミを授業では体感してもらう。		
時間外学習	日本のマスコミによる報道だけではなく他国のマスコミによる報道も毎日読む習慣をつけ、日本のマスコミの特徴を日々発見していくことを推奨する。		
教科書	授業中にハンドアウトを配布する。		
参考書	日本語辞書など (その他授業で提示)		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的参加 (20%)・宿題 (30% [8回])、発表 1 (20%)、発表 2 (30%)		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習2（キャリア形成）		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター（非常勤）
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 水曜 2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、自己分析を通して、ビジネス場面に必要な会話能力やライティング能力の習得を目指すものである。		
具体的な 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な統計データから経済状況を読み取ることが出来るようになる。 ・ 現在の日本企業の実態が把握できるようになる。 ・ 日本において職を見つけるための基礎知識を身に付けることが出来るようになる。 		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースの概要説明、世界・日本経済の動向 2. 二極分解する日本社会 3. 世界に影響力を持つ日本企業 4. 伸びている産業 5. 就職先の決め方 6. 日本人の労働観 7. 日本再興プロジェクト準備 8. 日本再興プロジェクト発表 9. 就活の流れ 10. ビジネスマナー：敬語 11. 面接と人柄 12. 履歴書を書く 13. 会食のマナー 14. ポジティブ思考とお礼 15. スピーチ <p>【学生がより深く学べるための工夫】 分かりやすい統計データで日本経済の現状の把握を試みる。現在の日本社会の特徴をYouTube動画等を交えて視覚的に理解していく。日本再興プロジェクトを提案することで日本経済の問題点に対する理解を深める。ディスカッションを通して日本で成功する方法を受講者自ら積極的に考えていけるようになる。</p>		
時間外学習	ニッチ化で生き残りを模索する企業に対するリサーチを自主的に行ってもらいたい。どんな社会にも光と影の部分がある。経済的闇の中に光る日本企業、日本人アーティストから積極的に学んでほしい。		
教科書	ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	積極的授業参加（10%）、課題（40%）、プロジェクト発表（25%）、スピーチ（25%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授業科目名	日本語文法とディスコース (Japanese Grammar and Text Structure)		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター (非常勤)
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 水曜 4 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	英語を話す初級日本語学習者が学ぶ文構成に必要な格助詞 (を、に、と、へ、で) の用法を理解する。主題提示を行う「は」の機能を理解する。日本語の動詞群の構成法を理解する。日本語のテキスト (文章) 構成の原理をスキーマの視点から理解する。		
具体的な 到達目標	英語を母語とする初級日本語学習者に格助詞の使い方の説明ができるようになる。長い動詞群の構成 (例えば「たべさせられてしまっているのかもしれない」) がどうしてそのような構成になっているのが説明できるようになる。「は」の基本的機能が理解でき、「は」を巡る文章構成の指導ができるようになる。		
授業の内容	<p>第1回：オリエンテーション 第2回：日本語品詞 第3-7回：日本語における経験機能:格助詞と構文 1 第8回：プレゼンテーション1 第9回：日本語における経験機能:格助詞と構文 2 第10-12回：対人機能と動詞群の構造 第13-14回：「は」の機能と文章構造、文化 第15回：プレゼンテーション2</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 授業はグループディスカッションの形をとる。授業では日本の国語の授業では問題にされることのないテーマを考え、分析力を身につけていく。それがひいては留学生への文法説明能力の養成に繋がっていく。コース参加者は品詞の性質から徐々に日本語の文構造を学んでいき、最終的には文化とは何かという問題へと導かれていく。</p>		
時間外学習	予習1 時間、復習2 時間が必要。		
教科書	プリントを授業で配布する。		
参考書	授業中に参考文献のリストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	小さい課題 (5点×10回)、プレゼンテーション 1 (20点)、プレゼンテーション 2 (30点)		
備考・注意事項	グループディスカッションへの参加は必須。 授業は日本語で行われる。『日本文法とディスコース』 (Japanese Grammar and Discourse) を取った・取っている学生はこの科目を取ることはできない。		

授業科目名	ソーシャルネットワークと大分からの発信 II		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 水曜 3 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この科目は国東の魅力をブログとホームページを通じて発信し、インターネット上における効果的な情報発信力を身に付けることを目的とするが、それと同時にグループワークができる人材養成も念頭においた科目でもある。		
具体的な 到達目標	このコースではディスカッションを通じて次のようなことを学んでいく。(1) 安全なインターネット生活を送るための基礎知識、(2) 国東の世界農業遺産・六郷満山文化の基礎知識、(3) ブログの始め方、(4) Wixホームページの使い方。このコースを終えるころにはインターネット上での情報拡散についての最低限度の知識が身につくことになる。2回の研修旅行では過疎地が置かれている現状にも着目してもらい、そこでの気づきは最終報告書として提出してもらう。		
授業の内容	<p>第1回：オリエンテーション、仲間を見つける、授業まとめ1 第2回：インターネットの基礎知識、授業まとめ2 第3回：ブログを始める、授業まとめ3 第4回：国東半島の世界農業遺産とは、授業まとめ4 第5回：研修旅行準備、ブログ記事内容についてのディスカッション 第6回：研修旅行1（国東市旭小学校区を予定） 第7回：ブログ発表（プレゼン1） 第8回：Wix でホームページを始めてみる。授業のまとめ5 第9回：六郷満山文化とは、授業まとめ6 第10回：研修旅行2（国東市国見地区を予定）、授業まとめ7 第11回：里山と森林崩壊 第12回：ホームページの構成、グループディスカッション 第13回：ホームページ発表（プレゼン2）</p> <p>【学生がより深く学べるための工夫】 授業はグループディスカッションの形をとる。各グループには議長と書記をおき、この両者がグループのまとめ役となり、グループ全員が授業内容を理解しているかを確認する授業内容のまとめは翌週に宿題として提出。各グループは自分たちが調査したとことからをブログ及びホームページで発表。この発表を通して調査した事柄をクラス全体で共有する。</p>		
時間外学習	予習3時間、復習3時間が必要。		
教科書	プリントを授業で配布する。		
参考書	ブログに掲載する。		
成績評価の方法 及び評価割合	課題（10点）、フィールドワーク（研修旅行）（第一回10点、第二回10点）、ブログ作成・発表（20点）、ホームページ作成・発表（25点）。最終報告書（25点）。ブログとホームページ作成はグループワーク。70%以上の出席がない場合は不合格とし、フィールドワークと最終報告書の点数を合計点から除外する。		
備考・注意事項	授業は日本語と英語で行われるが、日本語が主要言語となる。2回の研修旅行の参加は必須。研修旅行1回は授業2回分。		

授業科目名	認知言語学から見た日英対照分析		
担当教員	橋本 美喜男	所属部局	教育学部
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 木曜 4限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教育学部 B 棟 5 階 097-554-7578 mikioha@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	本コースのねらいは、認知言語学の観点から英語と日本語を比較し、日本語と英語はどんな構文上の特徴を持っているのかをより深く理解することである。		
具体的な 到達目標	英語と日本語では視点の違いにより、同じ状況に対して異なる言語形式を用いることが多い。例えば、「ここはどこですか」は英語では“Where am I?”になる。英語には“I”が現れるが、日本語には現れない。なぜこのような違いが生じるのかを理解することで、英語と日本語の相違点とともに共通点の理解を深める。		
授業の内容	第 1 回 ローマ字で日本語を表記する方法 (ヘボン式) 第 2 回 基本構文とステージモデル 第 3 回 英語と日本語の統語的違い 第 4 回 因果関係 第 5 回 事態の構造 第 6 回 動詞の活用 第 7 回 動詞の活用 イ形容詞とナ形容詞 第 8 回 時制と相 (単純相, 進行相, 完了相, 完了進行相) 第 9 回 日本語の動詞の分類 (状態 1, 状態 2, 継続, 瞬間) 第 10 回 英語の動詞の分類 (達成, 活動, 到達, 状態) 第 11 回 日本語の受身文 (直接受身, 間接受身, 持ち主受身) 第 12 回 英語の受動文 第 13 回 英語の使役文 第 14 回 日本語の使役文 第 15 回 まとめと復習 【学生がより深く学べるための工夫】 関連する課題を考える時間を設ける。		
時間外学習	毎回の講義で課す課題に取り組む。		
教科書	Moodle を通してプリントを配布する。		
参考書	講義中に紹介する。		
成績評価の方法 及び評価割合	毎回の授業の課題 40% 最終レポート 60%		
備考・注意事項	Moodle を使用して出席をとるので、スマホもしくはパソコンが必要です。		

授業科目名	自然科学への招待		
担当教員	近藤隆司, 西垣肇, 長屋智之, 末谷大道, 岩下拓哉, 小西美穂子	所属部局	理工学部
単 位	2	学期 曜日・時限	後期 金曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育実験棟 2階 近藤研究室 097-554-7956 ryuji-kondo@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	前半は海洋学。このパートでは、海の水に何が起きているのか、これらの現象がどのようにして知られ、理解されているのかを学ぶ。後半は物理の領域の幾つかの学びから、現代社会における各種課題の科学的側面を理解する基礎を養う。		
具体的な 到達目標	海洋学のパートでは、基本的な海洋現象を人に説明できるようになることを目標とする。後半の物理のパートでは、自然現象への物理的なアプローチの特徴を知ることが目標である。		
授業の内容	<p>前半：海水の流動（西垣）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球と海洋 2. 海水の分布 3. 海洋の大循環 4. 海洋の風成循環 5. 海洋の潮汐 6. 海洋観測 7. 海洋学とは <p>後半：物理学関連分野</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 液晶に電場や磁場を印加した時に出現する様々な構造やパターンに関する科学的研究事例について紹介します。 2. 材料科学の世界への旅：材料科学の研究をしている世界中の大きな研究機関を紹介します。また、海外の文化について意見交換を行います。 3. 電磁波の性質や万有引力の法則を説明し、観測から宇宙の様々な現象をどのように理解しているのかを紹介します。 4. 自然に見られる非線形的な現象を紹介します。 5. 電磁波に関して、鉱石ラジオを作成しながら学びます。 6. この講義の内容も含めて、これまでの科学に関する知見から、物理的アプローチの特徴とは何か、受講生自身の考えをまとめて発表する（この項目は発表準備を合わせて2週間の予定）。 <p>【学生がより深く学べるための工夫】 各担当教員が、講義内容の参考となるテキストを紹介する。</p>		
時間外学習	毎回の講義内容の復習		
教科書	特に指定しない。		
参考書	各担当教員から指示する。		
成績評価の方法 及び評価割合	中間テストが50%、期末テスト（発表）が50%による評価。		
備考・注意事項	受講生は、物理学関連分野の最終日の発表を必ず実施する必要があります。		

1 . Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students

Course Title	Japanese I: Grammar		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 2 nd Period Fall: Tuesdays 2 nd Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese grammar and language functions.		
Learning Outcomes	<p>At the end of the course, students will be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Read and write Kana characters including both Hiragana and Katakana; 2. Understand the basic Japanese grammar and language functions and use them when expressing requests, preferences, reasons, and wishes. 		
Content	<p>Week 1: Introduction to the course—Hiragana & basic greetings Week 2: Lesson 1 Vocabulary/Grammar & Introduction to Katakana Week 3: Lesson 2 Vocabulary/Grammar Week 4: Lesson 3 Vocabulary/Grammar Week 5: Lesson 4 Vocabulary/Grammar Week 6: Lesson 5 Vocabulary/Grammar Week 7: Lesson 6 Vocabulary/Grammar Week 8: Mid-term Exam Week 9: Lesson 7 Vocabulary/Grammar Week 10: Lesson 8 Vocabulary/Grammar Week 11: Lesson 9 Vocabulary/Grammar Week 12: Lesson 10 Vocabulary/Grammar Week 13: Lesson 11 Vocabulary/Grammar Week 14: Lesson 12 Vocabulary/Grammar Week 15: Semester Review</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance student learning)</p> <p>Learner-centered hands-on activities are employed to enhance basic Japanese language acquisition. Satisfactory completion of weekly homework and quizzes are required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class LMS, Moodle.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese I: Conversation		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring : Wednesdays 2 nd Period Fall : Wednesdays 1 st Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese oral communication skills		
Learning Outcomes	<p>At the end of the course, students will be able to:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Carry on basic conversations in several situations 2. Express requests, preferences, reasons, and wishes using basic vocabulary and Japanese language functions 		
Content	<p>Week 1: Introduction to the course & greetings Week 2: Lesson 1 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 3: Lesson 2 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 4: Lesson 3 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 5: Lesson 4 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 6: Lesson 5 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 7: Lesson 6 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 10: Lesson 8 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 11: Lesson 9 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 12: Lesson 10 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 13: Lesson 11 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 14: Lesson 12 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 15: Semester Review</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance student learning)</p> <p>Learner-centered hands-on activities based on real-life situations are used to enhance oral communication skills. Satisfactory completion of weekly homework is required.</p> <p>Weekly lecture notes and handouts are provided on the class LMS, Moodle.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese I: Integrated Activities		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring & Fall Semesters Thursdays 2 nd Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese language skills through comprehensive learning activities		
Learning Outcomes	<p>At the end of the course, students will be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Grasp basic Japanese grammar and language functions 2. Express requests, preferences, reasons, and wishes by using vocabulary typical in daily life 		
Content	<p>Week 1: Introduction to the course (greetings and kana review) Week 2: Lesson 1 Comprehensive learner-centered tasks and activities review practice Week 3: Lesson 2 Comprehensive review practice of Lesson 2 Week 4: Lesson 3 Comprehensive review practice of Lesson 3 Week 5: Lesson 4 Comprehensive review practice of Lesson 4 Week 6: Lesson 5 Comprehensive review practice of Lesson 5 Week 7: Lesson 6 Comprehensive review practice of Lesson 6 Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Comprehensive review practice of Lesson 7 Week 10: Lesson 8 Comprehensive review practice of Lesson 8 Week 11: Lesson 9 Comprehensive review practice of Lesson 9 Week 12: Lesson 10 Comprehensive review practice of Lesson 10 Week 13: Lesson 11 Comprehensive review practice of Lesson 11 Week 14: Lesson 12 Comprehensive review practice of Lesson 12 Week 15: Semester Review</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered learning activities based on real-life situations are used to enhance overall language skills. Satisfactory completion of weekly homework is required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the LMS, Moodle.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 1 Reading		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays, 4 th period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	It aims at helping learners read and write the complete range of basic kanji characters.		
Learning Outcomes	Students will acquire Hiragana, Katakana and 145 Kanji. They will be able to write and comprehend short paragraphs consisting of the weekly assigned-kanji.		
Content	<p>Week 1: Introduction of Hiragana (practice). Week 2: Introduction of Katakana (practice) and Lesson 1 (vocabulary/Grammar). Week 3: Lesson 2 (vocabulary/Grammar). Week 4: Lesson 3 (vocabulary/Grammar). Week 5: Lesson 4 (vocabulary/Grammar). Week 6: Lesson 5 (vocabulary/Grammar). Week 7: Lesson 6 (vocabulary/Grammar). Week 8: Lesson 7 (vocabulary/Grammar). Week 9: Lesson 8 (vocabulary/Grammar). Week 10: Revision of Lessons 1-8 (vocabulary/Grammar). Week 11: Lesson 9 (vocabulary/Grammar). Week 12: Lesson 10 (vocabulary/Grammar). Week 13: Lesson 11 (vocabulary/Grammar). Week 14: Lesson 12 (vocabulary/Grammar). Week 15: Revision of all lessons (vocabulary/Grammar).</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given to assist students to acquire Kanji.</p>		
Recommendation for Private Study	Revision of the weekly-introduced Kanji is very important. Practice reading and writing the Kanji daily until you feel confident.		
Textbooks	<i>An Introduction to Elementary Japanese (Genki I)</i> ; Third Edition ; The Japan Times. (The Second Edition of the Book should not be acceptable.)		
References	<i>A dictionary of basic Japanese grammar</i> , The Japan Times. <i>Japanese-English Learner's Dictionary</i> , Kenkyusha.		
Assessment Criteria	Weekly Tests 20% Weekly Assignments 20% Mid-term Examination 20% Final Examination 40%. It is a requirement that a student should attend more than 70 % of the class time to be eligible for the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.		

Course Title	Japanese 2 Grammar		
Lecturer	Semester 1: NANRI, Keizo Semester 2: (to be announced)	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 1, Tuesdays 2 st Period Semester 2, Tuesdays 1 nd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i>		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to accurately explain the temporal relation between events, to present future plans and expectations by employing volitional forms and the like, to report events caused by someone, and to properly speak to someone based on the social relationship between him/her and his/her addressee.		
Content	<p>Weeks 1-2: Review of <i>te</i>-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)</p> <p>Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.</p> <p>Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.</p> <p>Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.</p> <p>Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.</p> <p>Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara, maeni, tekara</i>, give us accurate accounts of past events.</p> <p>Weeks 8-9: Review.</p> <p>Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.</p> <p>Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.</p> <p>Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.</p> <p>Week 14-15: Report events caused by someone.</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by patte</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class		
Textbooks	<i>Genki II : An Integrated Course in Elementary Japanese</i> , The Japan Tim		
References	<i>A Dictionary of Basic Japanese Grammar</i> , The Japan Times <i>A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Conversation		
Lecturer	Semester 1: NANRI, Keizo Semester 2: (to be announced)	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 1, Wednesdays 1 st Period Semester 2, Wednesdays 2 nd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i> .		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to spontaneously continue to talk for at least 8 minutes in a dialogic situation on one or more of the following topics: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to use <i>keigo</i> .		
Content	<p>Weeks 1-2: Review of <i>te</i>-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)</p> <p>Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.</p> <p>Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.</p> <p>Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.</p> <p>Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.</p> <p>Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara, maeni, tekara</i>, give us accurate accounts of past events.</p> <p>Weeks 8-9: Review.</p> <p>Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.</p> <p>Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.</p> <p>Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.</p> <p>Week 14-15: Report events caused by someone.</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern practice and then by a product-oriented activity to consolidate the linguistic knowledge</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.		
Textbooks	<i>Genki II : An Integrated Course in Elementary Japanese</i> , The Japan Times		
References	<i>A Dictionary of Basic Japanese Grammar</i> , The Japan Times <i>A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Integrated Activities		
Lecturer	Semester 1: NANRI, Keizo Semester 2: (to be announced)	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 1, Fridays 2 nd Period Semester 2, Fridays 2 nd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i> .		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to read and understand conversation texts whose topics are: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to write an essay on 'me in 10 year's times' that is 600-ji long in Japanese without using dictionaries.		
Content	<p>Weeks 1-2: Review of <i>te</i>-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)</p> <p>Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.</p> <p>Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.</p> <p>Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.</p> <p>Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.</p> <p>Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara, maeni, tekara</i>, give us accurate accounts of past events.</p> <p>Weeks 8-9: Review.</p> <p>Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.</p> <p>Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.</p> <p>Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.</p> <p>Week 14-15: Report events caused by someone.</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern practice and then by a product-oriented activity to consolidate the linguistic knowledge</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.		
Textbooks	<i>Genki II : An Integrated Course in Elementary Japanese</i> , The Japan Times		
References	<i>A Dictionary of Basic Japanese Grammar</i> , The Japan Times <i>A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Reading		
Lecturer	FUJITA Akemi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 2 nd period
Lecturer's Office	akemi1027f@gmail.com		
Aims	This course aims to enable students who have completed the second-level unit of elementary Japanese to acquire new words, expressions, and kanji written characters.		
Learning Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> • To read and write the basic 300 Kanji • To learn words utilizing the basic Kanji • To read short essays (in the textbook) and write paragraphs 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation & Review (1) 2. Review (2) 3. Interesting Experiences in Japan (1) 4. Interesting Experiences in Japan (2) 5. Personal Advice Column 6. My Favorite Place 7. The Manga Doraemon 8. Mid-term Exam 9. Yoko Ono 10. College Life 11. Letters and E-mails 12. A Cat's Plate 13. Unlucky Ages 14. Sakura's Diary 15. What Does This Face Mean? (Emoticon & Pictograph) 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students are required to take a Kanji quiz each week. This will enhance students' ability to use their newly acquired written and oral vocabulary</p>		
Recommendation for Private Study	<p>At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required.</p> <p>Students are expected to come to class fully (at least adequately) prepared.</p>		
Textbooks	Genki II : An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times		
References	<p>New Japanese-English Character Dictionary, Kenkyusha</p> <p>A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times</p>		
Assessment Criteria	<p>Participation (10%), Homework (20%), Quiz (10%), Mid-term and Final Exams (60%).</p> <p>Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.</p>		
Supplementary Information	<p>Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.</p> <p>This course syllabus is subject to change.</p>		

Course Title	Japanese 3 Grammar		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 2 nd period Fall: Tuesdays 2 nd period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The first semester of Intermediate Spoken Japanese course. The course aims to review and reinforce previous knowledge of Japanese and systematically develop the patterns of expression and vocabulary needed in various situations common in daily life.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life. 2. Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality. 3. Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation. 4. Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】</p> <p>Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	<i>J Bridge to Intermediate Japanese</i> , Bonjinsha		
References	Recommended: <i>A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, class performance, etc. 20%. It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enrollment. Other students must pass a placement test in order to enroll. Japanese 3 Grammar and Conversation are co-requisites.		

Course Title	Japanese 3 Conversation		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring & Fall: Wednesdays 2 nd period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The first semester of Intermediate Spoken Japanese course. The course aims to review and reinforce previous knowledge of Japanese and systematically develop the patterns of expression and vocabulary needed in various situations common in daily life.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life. 2. Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality. 3. Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation. 4. Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】</p> <p>Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	<i>J Bridge to Intermediate Japanese</i> , Bonjinsha		
References	Recommended: <i>A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	<p>Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, class performance, etc. 20%.</p> <p>It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.</p>		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enrollment. Other students must pass a placement test in order to enroll. Japanese 3 Grammar and Conversation are co-requisites.		

Course Title	Japanese 3 Reading II		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring : Tuesdays 1 st period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	Read short sentences at the first intermediate level about Japan and understand them.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Understand the structure of sentences. 2. Search for necessary information in sentences quickly. 3. Learn the proper usages of conjunctions and adverbs. 4. Learn about Japanese life and culture. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1 . Guidance 2 . Living in Japan 1 3 . Living in Japan 2 4 . Living in Japan 3 5 . Living in Japan 4 6 . Living in Japan 5 7 . Living in Japan 6 8 . Mid-term Exam 9 . Understanding Japan 1 10. Understanding Japan 2 11. Understanding Japan 3 12. Understanding Japan 4 13. Understanding Japan 5 14. Understanding Japan 6 15. Review 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Time for pair-work or group-work will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to review after every class.		
Textbooks	Handouts will be distributed every time.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	<p>Participation, Quizz (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%)</p> <p>Students required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.</p>		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese.		

Course Title	Japanese 3 Writing II		
Lecturer	FUJITA Akemi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Friday 1 st period
Lecturer's Office	akemi1027f@gmail.com		
Aims	This course is designed to develop writing skills by writing 600~700 word-letter essays on familiar topics using first intermediate level vocabularies, expressions, and grammars.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Be able to write Japanese compositions using clear, developed paragraphs. 2. Understand sentence construction and write sentences that uses conjunctions and adverbs effectively. 3. Understand how to use traditional Japanese manuscript paper properly. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Guidance 2. Ask a person's permission 3. Express one's gratitude 4. Refuse a request 5. Advertise a commodity 6. Self-introduction 7. Review 8. Mid-term Exam 9. Convey an event information 10. Express an emotion 11. Give someone advice ① 12. Give someone advice ② 13. Foresee the future 14. Comparison of Past and Present 15. Review 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	<p>Review after every class.</p> <p>Preparation for presentation.</p>		
Textbooks	Handouts will be distributed every class.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (20%), Presentation (15%), Exams (55%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Extensive Reading in Japanese		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 4 th Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course offers students at intermediate and advanced levels an opportunity to enhance their reading skills as well as developing the pleasure of reading utilizing extensive reading with short stories written for learners of Japanese and authentic materials written for native speakers.		
Learning Outcomes	In this course, the emphasis is put on acquiring the skill to enjoy the contents without translation. Gradually shifting to the materials of higher levels, students will find themselves absorbing the contents without translating each words or sentences into their native language. Through this course, students will develop general language competence, knowledge of vocabulary, prediction skills, as well as writing and speaking skills.		
Content	<p>Students are guided to read as many pages as possible without using dictionaries while the instructor carefully monitors their reading behavior and gives advice and suggestions to improve their reading skills.</p> <p>Week 1 Introduction and orientation Week 2 extensive reading Week 3 oral book report and extensive reading Week 4 oral book report and extensive reading Week 5 oral book report and extensive reading Week 6 oral book report and extensive reading Week 7 oral book report and extensive reading Week 8 writing a story Week 9 oral book report and extensive reading Week 10 oral book report and extensive reading Week 11 oral book report and extensive reading Week 12 oral book report and extensive reading Week 13 preparation for the presentation of book trailer Week 14 presentation Week 15 presentation</p> <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Each students give an oral book report in their small group every week followed by the question and answer session.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to read books.		
Textbooks	Materials including <i>Nihongo Tadoku Books</i> , <i>Japanese Graded Readers</i> , and <i>Genki Japanese Readers</i> to be provided in class.		
References			
Assessment Criteria	Number of books (20%), Reading log (20%), Oral book reports (10%), Writing a story (15%), Presentation (25%), Participation and class performance (10%)		
Supplementary Information	Students must pass level 3 or higher in the placement test to be admitted to this course.		

Course Title	Japanese 4 Grammar II		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring : Tuesdays 2 nd period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to improve intermediate-level grammatical knowledge further.		
Learning Outcomes	Understand the meaning and usage of intermediate-level grammar points and expressions and use them accurately.		
Content	<p>The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar I . Lessons7 through 16 will be covered in this course.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Guidance, Diagnostic test, etc. 2. Structure of complex sentences 1 3. Noun modification 4. Expressions that form complex sentences 1 5. Expressions that form complex sentences 2 6. Expressions that form complex sentences 2, 3 7. Expressions that form complex sentences 3 8. Mid-term Exam 9. Expressions to deny something 10. Conveying subjective information 1 11. Conveying subjective information 1, 2 12. Conveying subjective information 2 13. Adverbs that are used like idioms 14. Adverbs that are used like idioms / Conjunctions 15. Conjunctions 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten Seiri Pointo 20 " (3A-Network)		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.		

Course Title	Japanese 4 Speaking		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 1 st period Fall: Wednesdays 1 st period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The second semester course of Intermediate Spoken Japanese. The course aims to develop the speaking and listening ability to communicate in various situations commonly encountered at the university level. In this course, students go to town with group members to gather information by interviewing local people and get a better understanding about Oita and Japan.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students acquire practical communicative competence and will enable to use appropriate expressions and speak accurately and actively on general topics. 2. Students enable to speak in a length of a several paragraphs. 3. Students enable to use both formal and informal styles properly. 4. Improve students' listening comprehension. 		
Content	<p>The major functions or situations to be covered in the first half of this course are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction and orientation 2. borrowing 3. accepting and declining an invitation 4. asking for permission 5. changing an appointment 6. explaining how to use 7. speech 8. Mid-term exam <p>In the latter half, students work with their group members for the final project.</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. my favorite Oita (1) making up questionnaire on a topic students chose 10. my favorite Oita (2) interview to Japanese students or local people 11. my favorite Oita (3) analysis of the interview 12. my favorite Oita (4) field research on their topic 13. my favorite Oita (5) preparation for the presentation 14. my favorite Oita (6) presentation 15. oral Exam <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role-playing, speech, group work are designed for students to acquire communicative competence in Japanese. Students get feedbacks on their errors individually to help them aware of their errors and correct them by themselves.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening, making dialogues, preparing for speeches and a group project, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	<i>Speaking Skills Learned through Listening: Japanese "Live" Intermediate & advanced Level</i> , Kurocio		
References	<i>15 Communication Tips for Becoming a Good Speaker and Listener</i> , ASK Publishing		
Assessment Criteria	Midterm exam 30%, oral exam 10%, presentation 15%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, final project 15%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	Japanese 3 is a prerequisite. Other applicants must pass a placement test to be admitted to this course. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to join the final project.		

Course Title	Japanese 4 Reading II		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Fridays Period:2
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3 rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will acquire intermediate-advanced level vocabulary and expressions while reading various genres such as articles, novels, essays, and haiku, and acquire reading comprehension skills. Through these readings, they will not only deepen their understanding of Japanese society and culture, but also gain the ability to think for themselves on the themes.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To be able to read cohesive texts on social themes. 2. To accurately understand information and the author's thoughts. 3. To develop critical thinking skills using the acquired knowledge from the course content. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Article ① 2. Essay ① 3. Article ② 4. Essay② 5. Essay③ 6. Article ③-1 7. Article ③-2 8. Test I 9. Poem 10. Novel ① 11. Article ④-1 12. Article ④-2 13. Novel ② 14. Essay④ 15. Test II <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students read the works of writers who are also popular overseas (Haruki M., Banana Y., Kenzaburo O., etc.) and consider the issues and themes raised in the text as their own issues and have their own perspective through research and discussion.</p>		
Recommendation for Private Study	Students do weekly preparations and assignments. Review new vocabulary to be quizzed on regularly.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Chu-jo kyu gakushusha muke Nihonbunka o yomu</i> , ALC, 2012		
Assessment	Test I (35%), Test II (35%), Assignments (15%), Word quiz (15%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.</p>		

Course Title	Japanese 4 Writing II		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesdays Period:1
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3 rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will be able to write easy-to-understand and detailed essays by learning vocabulary and expressions on various themes. They will also learn the basics of writing logically and academic writing.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To be able to write easy-to-understand essays using the vocabulary and expressions from the course themes. 2. To be able to explain somewhat complicated ideas and information. 3. To be able to write logical reports of 800 characters or more. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Self-introduction 3. Travel (formal style) 4. Cross-cultural understanding 5. Children's play 6. Buildings 7. Jobs 8. Peer reading ① 9. Logical writing 10. Quoting 11. Expressing graphs 12. Writing about social issues 13. Writing appropriate sentences 14. Basic knowledge to write academic reports 15. Peer reading ② / Summary <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Themes that students want to write on are selected. Students overcome their weaknesses in writing by discussing and writing while having fun. In addition, They will learn writing skills from each other and improve their level through peer reading.</p>		
Recommendation	Students write a composition every week.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Daigaku de manabu tameno nihongo raityingu</i> , Japan times, 2006 <i>Kakukoto o tanoshimu chukyusakubun</i> , Bonjinsha, 2020 <i>Nihongo o manabuhito no tameno Akademikku raityingu koza</i> , ASK, 2020		
Assessment	Interim report (30%), Final report (30%), Assignments (40%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final report.</p>		

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese II		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring : Mondays 1 st period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to enhance practical Japanese language skills. It places an emphasis on encouraging students to put their already acquired Japanese skills into practice by using them in various context-specific environments.		
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills to participate in discussions in Japanese, as well as learning how to fluently express their own opinions and analysis in Japanese.		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Learning from media materials 1 3. Learning from media materials 2 4. Learning from media materials 3 5. Learning from media materials 4 6. Learning from media materials 5 7. Learning from media materials 6 8. Learning from media materials 7 9. Learning from media materials 8 10. Independent Project 1 11. Independent Project 2 12. Independent Project 3 13. Independent Project 4 14. Presentaion, comments 15. Presentation, comments 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation (20%)、 Project (30%)、 Assignments (20%) Examination (30%)		
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Speaking		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 2 nd period Fall: Mondays 2 nd period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is for advanced learners. It is designed to improve speaking skills.		
Learning Outcomes	<p>Students will be able to do the following :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To deliver a 3-minute speech composed of many paragraphs. 2. To describe and explain complicated matters. etc. 3. To speak appropriately in a polite manner. 4. To discuss accepting different thoughts and opinions, etc. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Guidance 2. Introducing yourself effectively 3. How I started to do ~ 4. Talking about your experience of losing something 5. Talking about your home town 6. Explaining the sequence of movement 1 7. Explaining the sequence of movement 2 8. Mid-term Exam 9. Talking about the interesting aspects of your hobby, sports, and the like 10. Paraphrasing 11. Comparing and contrasting 1 12. Comparing and contrasting 2 13. discussing social matters 1 14. discussing social matters 2 15. discussing social matters 3 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for discussion, and peer-teaching will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	Handouts will be distributed every time.		
References	Nihongo jookyuu washa e no michi, 3A-Network		
Assessment Criteria	<p>Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.</p>		
Supplementary Information	This course is for students whose proficiency level in Japanese is 5 according to the result of the CIER placement test or students who have successfully completed Japanese 4 Speaking Course (Grade B or above).		

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing II		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 1 st Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to introduce academic papers and modern Japanese literature in the original, and which are different from the texts provided in Japanese 5 Reading/Writing I, in order to develop a higher level of reading competency. Students will learn the basic skills of academic writing as well.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields. 2. Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly. 3. Students read modern Japanese literature and enable to explain the content. 4. Students learn the structures of paragraphs, and enable to write summaries and opinions. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings: <ol style="list-style-type: none"> 1. written language 2. structures of a paragraph 3. outline and complex sentences 4. theory evolution and sentence structure 1 5. theory evolution and sentence structure 2 6. summary 7. Exam 1 II. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions. <ol style="list-style-type: none"> 8-11. Fiction reading 12. Exam 2 III. Writing: structures each week include the followings: <ol style="list-style-type: none"> 13. learn fundamental way of writing papers 14. learn how to describe situation and express opinions 15. learn how to write cohesive summaries <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】</p> <p>Feedbacks of compositions will be given by both a peer and an instructor in order to help students to rewrite compositions.</p> 		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.		
Textbooks	<i>Japanese for International College / Graduate Students 3: Reading Essays, ALC</i>		
References	<i>Japanese for International College / Graduate Students 4: Writing Essays, ALC</i>		
Assessment Criteria	Exam 1 30%, Exam 2 30%, composition 20%, homework 10%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to be at JLPT N1 level. Japanese 5 Reading/Writing I is not a prerequisite. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Grammar II		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Fridays Period:1
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students accurately understand and properly use intermediate and advanced grammar patterns and vocabularies in order to acquire various expressions in daily conversation and in university lectures.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn advanced level (N1-N2 of JLPT) Japanese grammar and vocabulary. 2. To understand the meaning and usage of similar expressions. 3. To use those similar expressions accurately and precisely. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Comparison 2. Status 3. Illustrative 4. Emotions 5. Criteria 6. Position 7. End 8. Test II 9. Possibility / Difficult and Easy 10. Will 11. Judgment 12. Denial 13. Iteration 14. Others 15. Test I <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students make short sentences using the learned sentence patterns and write them on the board so that they can correct each other. If there is any misuse, they will think about it in the class. By doing so, they will acquire a sharp sense of language in Japanese.</p>		
Recommendation	Students prepare, review and submit weekly assignments.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Donna toki tsukau Nihongo hyogen bunkei jiten</i> , ALC, 2010 <i>Kurabete wakaru Nihongo hyogen bunkei jiten</i> , J-research, 2008 <i>Ikita reibun de manabu Nihongo hyougen bunkeijiten</i> , ASK, 2008		
Assessment	Test I (40%), Test II (40%), Assignments (20%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at N2 of JLPT is a prerequisite.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.</p>		

Course Title	Independent Research Project I		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays, 5 th period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaika@oita-u.ac.jp		
Aims	This course will provide students with necessary research skills and experience in the field in which students have been engaged.		
Learning Outcomes	Students will gain further knowledge and understanding of the area that they have chosen for the research project.		
Content	<p>Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester.</p> <p>The procedure is as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester); 2. Make a project plan with your supervisor; 3. Engage in the research under the guidance of your supervisor; 4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project. <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Weekly assignments and tests are given in order to assist students to acquire grammar. A supervisor is able to monitor his student's progress.</p>		
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they should work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.		
Textbooks	None.		
References	To be provided by supervisor.		
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100% Note: Penalties will be incurred for late submission.		
Supplementary Information	Important Note: Students should provide an outline of their proposal with Prof. Nagaika by the first Friday of the Semester at the latest.		

Course Title	Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students		
Lecturer	Instructors of GAIA	Faculty	GAIA
Credit	To be announced	Timetable	To be announced
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor		
Aims	This is a six-month beginners' Japanese course for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders. Students study the basic Japanese to acquire listening, speaking, reading and writing skills. Basic English language ability is required. All seven classes are co-requisites.		
Learning Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> • To learn basic daily conversation skills • To be able to read and write hiragana, katakana, and basic kanji • To be able to read and write short passages 		
Content	<p>Grammar, expression, and vocabulary will be taught in close relationship to the associated language functions. Some of the major functions to be covered in this course are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. greetings 2. self-introduction 3. counting and telling time 4. shopping 5. telling your schedule 6. making a plan 7. inviting 8. describing location 9. telling what you did 10. expressing likes and dislikes 11. telling reasons 12. making requests 13. giving permission 14. prohibiting 15. identifying people <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】</p> <p>Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.</p>		
Recommendation for Private Study	Revision and preparation of each lesson.		
Textbooks	<i>Genki I: An Integrated course in Elementary Japanese</i> , The Japan Times <i>Genki I Workbook</i> , The Japan Times		
References	Recommended: <i>A Dictionary of Basic Japanese Grammar</i> , The Japan Times		
Assessment Criteria	Spoken test 30%, Weekly tests and Assignments 30%, Final Exam 40%		
Supplementary Information	This course is offered for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders (Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students).		

Course Title	Japanese 1 Reading		
Lecturer	(to be announced)	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays, 1 st period
Lecturer's Office			
Aims	It aims at helping learners read and write the complete range of basic kanji characters.		
Learning Outcomes	Students will acquire Hiragana, Katakana and 145 Kanji. They will be able to write and comprehend short paragraphs consisting of the weekly assigned-kanji.		
Content	<p>Week 1: Introduction of Hiragana (practice). Week 2: Introduction of Katakana (practice) and Lesson 1 (vocabulary/Grammar). Week 3: Lesson 2 (vocabulary/Grammar). Week 4: Lesson 3 (vocabulary/Grammar). Week 5: Lesson 4 (vocabulary/Grammar). Week 6: Lesson 5 (vocabulary/Grammar). Week 7: Lesson 6 (vocabulary/Grammar). Week 8: Lesson 7 (vocabulary/Grammar). Week 9: Lesson 8 (vocabulary/Grammar). Week 10: Revision of Lessons 1-8 (vocabulary/Grammar). Week 11: Lesson 9 (vocabulary/Grammar). Week 12: Lesson 10 (vocabulary/Grammar). Week 13: Lesson 11 (vocabulary/Grammar). Week 14: Lesson 12 (vocabulary/Grammar). Week 15: Revision of all lessons (vocabulary/Grammar).</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given to assist students to acquire Kanji.</p>		
Recommendation for Private Study	Revision of the weekly-introduced Kanji is very important. Practice reading and writing the Kanji daily until you feel confident.		
Textbooks	<i>An Introduction to Elementary Japanese (Genki I)</i> ; Third Edition ; The Japan Times. (The Second Edition of the Book should not be acceptable.)		
References	<i>A dictionary of basic Japanese grammar</i> , The Japan Times. <i>Japanese-English Learner's Dictionary</i> , Kenkyusha.		
Assessment Criteria	Weekly Tests 20% Weekly Assignments 20% Mid-term Examination 20% Final Examination 40%. It is a requirement that a student should attend more than 70 % of the class time to be eligible for the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.		

Course Title	Japanese 2 Reading		
Lecturer	Fall: Keizo Nanri	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 2 nd Period
Lecturer's Office			
Aims	This course aims to enable students who have completed the second-level unit of elementary Japanese to acquire new words, expressions, and kanji written characters.		
Learning Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> • To read and write the basic 300 Kanji • To learn words utilizing the basic Kanji • To read short essays (in the textbook) • To write paragraphs 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation & Review (1) 2. Review (2) 3. Interesting Experiences in Japan (1) 4. Interesting Experiences in Japan (2) 5. Personal Advice Column 6. My Favorite Place 7. The Manga Doraemon 8. Mid-term Exam 9. Yoko Ono 10. College Life 11. Letters and E-mails 12. A Cat's Plate 13. Unlucky Ages 14. Tomomi's Diary 15. What Does This Face Mean? 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to take a Kanji quiz each week. This will enhance students' ability to use their newly acquired written and oral vocabulary</p>		
Recommendation for Private Study	At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required. Students are expected to come to class fully (at least adequately) prepared.		
Textbooks	Genki II : An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times		
References	New Japanese-English Character Dictionary, Kenkyusha A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times		
Assessment Criteria	Participation (10%), Homework (20%), Quiz (10%), Mid-term and Final Exams (60%). Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome. This course syllabus is subject to change.		

Course Title	Japanese 3 Reading I		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall : Thursdays 2 nd period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	Read short stories at the first intermediate level about Japan and understand them.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Understand the structure of sentences. 2. Search for necessary information in sentences quickly. 3. Learn the proper usages of conjunctions and adverbs. 4. Learn about Japanese life and culture. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Guidance 2. story 1 3. story 2 4. story 3 5. story 4 6. story 5 7. story 6 8. Mid-term Exam 9. story 7 10. story 8 11. story 9 12. story 10 13. story 11 14. story 12 15. review 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work or group-work will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to review after every class and to prepare for the quiz every time.		
Textbooks	Handouts will be distributed every time.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, Quizz (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) Students required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese.		

Course Title	Japanese 3 Writing I		
Lecturer	Keizo Nanri	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 1 st period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this course is to be able to write a composition of approximately 600 words on familiar topics using grammar, expressions, and vocabulary at the beginner to intermediate level.		
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to (1) Read and write approximately 700 <i>kanji</i> characters; (2) Write a composition of around 600 words on specific topics without using a dictionary; (3) Acquire the skills to sustain a conversation for several minutes on the aforementioned topics.		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation and Self-Introduction 2. Shopping 3. Travel 4. Grammar Review and Reading 5. Health Management 6. Food and Cooking 7. Sports 8. Grammar Review and Reading 9. Midterm Test 10. Hometown Pride 11. Marriage 12. Festivals 13. Grammar Review and Reading 14. Speech Preparation 15. Speech Presentation 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Starting from conversation and progressing towards essay writing, the approach adopted by this course involves assigning small composition tasks in each session. This method aims to gradually and sustainably develop writing skills.		
Recommendation for Private Study	Review after class, as well as the creation of compositions, is mandatory.		
Textbooks	SAWADA, Sachiko et al. (2011) <i>Nihongo Oshaberu no Tane</i> 2ed Ed. Tokyo: 3A Network.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Assignment (20%), Speech (20%), Mid-Term Test (20%), EoT-Exam (40%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 4 Grammar I		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall : Mondays 1 st period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to improve intermediate-level grammatical knowledge further.		
Learning Outcomes	Understand the meaning and usage of intermediate-level grammar points and expressions and use them accurately.		
Content	<p>The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar II . Lessons1 through 6 and Lessons17 through 20 will be covered in this course.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Guidance 2. Particles with various functions 3. Topicalization 4. Phrases used like grammatical particles 1 5. Phrases used like grammatical particles 1, 2 6. Phrases used like grammatical particles 2 7. Phrases used like grammatical particles 3 8. Mid-term Exam 9. How to nominalize verbs and adjectives 1 10. How to nominalize verbs and adjectives 2 / Expanding your vocabulary 1 11. Expanding your vocabulary 2 / Formal sentences 1 12. Formal sentences 2 / Polite expressions 1 13. Polite expressions 2 14. Cohesion in conversation and written language 1 15. Cohesion in conversation and written language 2 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten Seiri Pointo 20 " (3A-Network)		
References	"A Dictionary of Basic Japanese Grammar" (The Japan Times) "A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar" (The Japan Times)		
Assessment Criteria	Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.		

Course Title	Japanese 4 Reading I		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Fridays Period:1
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will acquire reading comprehension to read academic texts by reading essays, newspaper articles, data, etc. on several themes. Also, through reading activities, they will not only gain knowledge about Japanese society, but also gain the ability to think for themselves on social themes.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To be able to read cohesive texts on social themes. 2. To accurately understand information and data. 3. To be able to quickly understand and comprehend the content and main points of texts. 4. To develop critical thinking skills using the acquired knowledge from the course content. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Meeting people① 3. Meeting people ② 4. Thinking about the difference ① 5. Thinking about the difference② 6. Getting used to life① 7. Getting used to life② 8. Test I 9. Children and education ① 10. Children and education ② 11. Children and education ③ 12. Youth sensibility ① 13. Youth sensibility② 14. Youth sensibility③ 15. Test I II <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students will expand their knowledge through reading material and data. They will also discuss each theme through issues familiar to them.</p>		
Recommendation for Private Study	Students should do weekly preparations and assignments, as well as reviews prior to word quizzes.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Chukyu nihongo kyokasho watashi no mistuketa nihon</i> , Tokyodaigakushuppan, 2013 <i>Chu-jokyu nihongo kyokasho Nihon e no shotai</i> , Tokyodaigakushuppan, 2008		
Assessment	Test I (35%), Test II (35%), Assignments (15%), Word quiz(15%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.</p>		

Course Title	Japanese 4 Writing I		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesdays Period:2
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will be able to write appropriate reports according to their purpose (academic reports, presentation manuscripts, emails, etc.). To that end, they learn expressions and sentence patterns that are appropriate for the situation and how to write logical sentences.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To be able to write sentences according to the situation (academic reports, presentation manuscripts, emails, etc.). 2. To be able to explain some somewhat complicated ideas and information. 3. To be able to write logical reports of 800 characters or more. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Self-introduction 2. Hometown introduction 3. How to write emails ①: Formal email, basic expressions 4. How to write emails ②: Email according to the situation 5. Recommend favorites 6. Advice: Study abroad life in Oita 7. Peer reading ① 8. Formal written Japanese 9. Explaining differences 10. Reporting events 11. Explaining origins and meanings 12. Expressing an opinion 13. Thinking about logical connections: Conjunctions and demonstrative pronouns 14. Basic knowledge of writing reports 15. Peer reading ② / Summary <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students will learn many useful and practical expressions. They will practice writing composition on a range of scenarios every week. In addition, through peer reading they will learn writing skills alongside their classmates and improve their writing ability.</p>		
Recommendation	Students write a composition every week.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Ryugakusei no tameno kokogataisetsu bunshouhyougen no ruru</i> , 3A Network, 2009 <i>Shoronbun eno 12 no suteppu</i> , 3A Network, 2008		
Assessment	Interim report (30%), Final report (30%), Assignments (40%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final report.</p>		

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese I		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall : Thursdays 1 st period
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to enhance practical Japanese language skills. It places an emphasis on encouraging students to put their already acquired Japanese skills into practice by using them in various context-specific environments.		
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills to participate in discussions in Japanese, as well as learning how to express their own opinions and analysis in Japanese.		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Learning from media materials 1 3. Learning from media materials 2 4. Learning from media materials 3 5. Learning from media materials 4 6. Learning from media materials 5 7. Learning from media materials 6 8. Learning from media materials 7 9. Learning from media materials 8 10. Independent Project 1 11. Independent Project 2 12. Independent Project 3 13. Independent Project 4 14. Presentaion, comments 15. Presentation, comments 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	References will be given as needed.		
Assessment	Participation (20%)、 Project (30%)、 Assignments (20%) Examination (30%)		
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing I		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 1 st period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to introduce academic papers and modern Japanese literature, and develop a higher level of reading competency. Students will learn the basic skills of academic writing as well.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields. 2. Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly. 3. Students read modern Japanese literature and enable to explain the content. 4. Students learn the structures of paragraphs, and enable to write short paper. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings: <ol style="list-style-type: none"> 1. written language 2. topic, main idea, and particles 3. main sentences and subordinate sentences, demonstrative phrases 4. quotation, conjunction 5. facts and ideas 6. paragraph construction 7. Exam 1 II. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions. <ol style="list-style-type: none"> 8-11. Fiction reading 12. Exam 2 III. Writing: structures each week include the followings: <ol style="list-style-type: none"> 13. learn fundamental way of writing papers 14. learn how to presenting topics 15. learn how to define and classify <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】</p> <p>Feedbacks of compositions will be given by both a peer and an instructor in order to help students to rewrite compositions.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.		
Textbooks	<i>Japanese for International College / Graduate Students 3: Reading Essays</i> , ALC		
References	<i>Japanese for International College / Graduate Students 4: Writing Essays</i> , ALC		
Assessment Criteria	Exam 1 30%, Exam 2 30%, composition 20%, homework 10%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to be at JLPT N1 level. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Grammar I		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Fridays Period:2
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3 rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students accurately understand and properly use intermediate and advanced grammar patterns and vocabulary in order to acquire various expressions in daily conversation and in university lectures.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn advanced level (N1-N2 of JLPT) Japanese grammar and vocabulary. 2. To understand the meaning and usage of similar expressions. 3. To use those similar expressions accurately and precisely. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Simultaneous 2. Start & end point 3. Incidental situation 4. Before and after 5. Adjunct 6. Conditions 7. Connect 8. Test I 9. Rationality 10. Forced 11. Feelings 12. State 13. Degree 14. Others 15. Test II <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>Students make short sentences using the learned sentence patterns and write them on the board so that they can correct each other. If there is any misuse, they will think about it in the class. By doing so, they will acquire a sharp sense of language in Japanese.</p>		
Recommendation	Students prepare, review and submit weekly assignments.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Donna toki tsukau Nihongo hyogen bunkei jiten</i> , ALC, 2010 <i>Kurabete wakaru Nihongo hyogen bunkei jiten</i> , J-research, 2008 <i>Ikita reibun de manabu Nihongo hyougen bunkeijiten</i> , ASK, 2008		
Assessment	Test I (40%), Test II (40%), Assignments (20%)		
Supplementary Information	<p>Permission to attend this class depends on the result of a placement. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at N2 of JLPT is a prerequisite.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.</p>		

Course Title	Academic Writing in Japanese		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	To be able to write academic reports and essays. To do this, students will learn the characteristics of reports and essays and, the appropriate vocabulary and writing style to be used. Also, to write an interesting and compelling report, focusing on how to choose a theme, and the proper composition of sentences.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To recognize the difference in vocabulary and writing style between spoken and written language and use them properly. 2. To be able to use the expression patterns required to write a report. 3. To write a report of 5000 characters or more, including an introduction, main theory, and conclusion. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Before writing a report and treatise 2. Type and composition of sentences 3. Basics of reports and treatises (Academic and formal expression) 4. Report of pros and cons 5. Quoting rules and methods 6. Data presentation and analysis ① 7. Data presentation and analysis ② 8. Structure of report and treatise 9. How to write an introduction 10. How to write a main theory ① Explanation mode 11. How to write a main theory ② Argument mode 12. How to write a conclusion 13. How to write a research plan 14. Sentence clarity 15. Sentence cohesion <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The teacher will point out misuse of expression and style in submitted assignments and instruct the students on correction for resubmission.</p>		
Recommendation	Students should write an essay using academic writing style every month.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Good writing eno pasupoto</i> , Kuroshio, 2014 <i>Repoto · Ronbun Hyogen Handbook</i> , Tokyo daigaku shuppankai, 2009 etc		
Assessment	Interim reports (20% × 3), Final report (40%)		
Supplementary Information	<p>This course is for very advanced students. Class enrollment will be limited to 20 students. Permission to attend this class depends on the result of a placement test.</p> <p>It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final report.</p>		

Course Title	Independent Research Project II		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays, 5 th period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This course will provide students with necessary research skills and experience in the field in which students have been engaged.		
Learning Outcomes	Students will gain further knowledge and understanding of the area that they have chosen for the research project.		
Content	<p>Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester.</p> <p>The procedure is as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester); 2. Make a project plan with your supervisor; 3. Engage in the research under the guidance of your supervisor; 4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project. <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>A supervisor is able to monitor his student's progress.</p>		
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.		
Textbooks	None.		
References	To be provided by supervisor.		
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100% Note: Penalties will be incurred for late submission.		
Supplementary Information	Important Note: Students should provide an outline of their proposal with Prof. Nagaike by the first Friday of the Semester at the latest.		

**2. Global Studies Courses for International and Japanese Students
(offered in either English, Japanese, or an integration of both)**

Course Title	Analysis of Japanese Grammar		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Tuesdays Period:2
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students observe and analyze Japanese from various linguistic perspectives. Through this work, they will gain a deeper understanding of Japanese as a language and develop the ability to analyze the characteristics of languages in general, not limited to Japanese.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn the basic idea of linguistics and apply it to the analysis of words and sentences. 2. To compare Japanese with other languages and explain the similarities and differences. 3. To propose a method to effectively teach Japanese as a foreign language. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: What is "Analysis of Japanese Grammar" 2. Analyzing Japanese from linguistics ① Language characteristics 3. Analyzing Japanese from linguistics ② Language function 4. Japanese in the world 5. Japanese grammar system ① Basic sentence patterns / Particles, etc. 6. Japanese grammar system ② Benefactive expression / Honorific 7. Japanese grammar system ③ Predicate structure and function 8. Japanese from the perspective of pragmatics ① 9. Japanese from the perspective of pragmatics ② 10. Examination 11. Japanese language teaching method ① Teaching material analysis 12. Japanese language teaching method ② Creating a lesson plan (1) 13. Japanese language teaching method ② Creating a lesson plan (2) 14. Japanese mock lessons ① 15. Japanese mock lessons ② <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Japanese students and international students form groups and analyze Japanese from various perspectives of linguistics. By presenting the results and experiencing a mock lesson that teaches Japanese, they will develop the ability to analyze the language objectively.</p>		
Recommendation for Private Study	Students do weekly preparations and assignments. They prepare for group presentations and mock lessons.		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<i>Nihongokyoshi no tameno oyoninchigengogaku</i> , Bonjinsha, 2009 <i>Nishongokyoshi no tameno nyumon gengogaku -Enshu to kaisetsu</i> , 3A Network, 2016 <i>Shin kokokara hajimaru nihongogaku</i> , Hitsujishobo, 2016 <i>Nihongokyoiku no stato rain</i> , 3A Network, 2016		
Assessment	Final examination (50%), Mock lesson (30%), Assignments (10%), Class performance (10%)		
Supplementary Information	It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. In the case of international students, knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at level 2 of the Japanese Language Proficiency Test is a prerequisite.		

Course Title	Business Japanese Seminar 3 : Current affairs II		
Lecturer	FUJITA, Akemi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring : Mondays 3 rd period
Lecturer's Office	Akemi1027f@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jiangnan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and enhancing not only their reading skills but also describing and expressing their own opinions of newspaper articles, news and topics related mainly to economics.		
Learning Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> • Choose appropriate information • Organize, summarize and accurately communicate the newspaper articles • Communicate clearly the contents of newspaper articles • Critique objectively on the newspaper articles • Utilize appropriate objectively information and express opinions 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation and outline of course 2. Significance of selecting media information (media literacy) 3. Read newspaper articles 4. Summarize newspaper articles after reading 5. Critique on newspaper articles after readings 6. Listen to news items 7. Summarize news items after listening 8. Critical listening 9-13. Select information to describe and express opinions 14. Presentations 15. Feedback <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Obtain appropriate information from web-based news and other sources, and investigate. • Hold team discussions and debate. • Record the presentations; obtain feedback via a self-evaluation rubric. 		
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.		
Textbooks	Economic news and movies from websites, newspaper articles and handouts		
References	apanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (15%), Listening (10%), Reading & Writing (15%), Presentation (15%), Final exam (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Business Japanese Seminar 4 : Job search		
Lecturer	FUJITA , Akemi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring:Fridays 2 nd period
Lecturer's Office	Akemi1027f@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jiangnan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and acquiring necessary speaking and conversational skills together with writing skills in business settings through understanding and analyzing themselves.		
Learning Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> • Utilize various resources in collecting information • Summarize information and communicate comprehensively • Conduct conversation in business settings • Formulate and write business documents (E-mail or documents) 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation and outline 2-3. Industry, occupation and the company 4. Decide a subject corporation for research 5. Formulate a project plan by the team 6-9. Collect data and conduct online or e-mail negotiations 10-13. Summary and report writing 14. Presentations 15. 15. Feedback <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <ul style="list-style-type: none"> • In a team, research a company, negotiate, visit the company, and conduct an interview. • In addition to creating a team report, also create an individual report. 		
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.		
Textbooks	Handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation (10%), Tasks (20%), Presentations (25%), Final exams (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Learning Oita Through <i>Kyogen</i>		
Lecturer	Keizo NANRI, Yoriko NISHIJIMA	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 4 th Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd Floor 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp Kyoyo Bldg., 3rd Floor 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	By mastering the fundamentals of the traditional Japanese performing art of <i>Kyogen</i> and creating a scenario based on the Oita region, this course aims to cultivate individuals who can gain a profound understanding of both traditional Japan and contemporary Oita. This will be achieved by performing the created scenario on an actual Noh stage.		
Learning Outcomes	This course aims to enable participants to narrate the history of <i>Kyogen</i> . By comprehending the fundamental vocalization and movements of <i>Kyogen</i> and actually performing on the Noh stage, participants will experience traditional Japanese performing arts. They will also acquire expertise in specific cultural and social features of the Oita region, allowing them to write <i>Kyogen</i> scenarios based on research.		
Content	<p>Week 1: Orientation and History/Plot of <i>Kyogen</i></p> <p>Week 2: Basics of <i>Kyogen</i> Movements</p> <p>Weeks 3-6: <i>Kyogen</i> Plot Development</p> <p>Week 6: <i>Kyogen</i> Workshop (@Noh Theatre)</p> <p>Weeks 7-12: Scenario Creation</p> <p>Weeks 13-15: Scenario Revision and Acting Guidance</p> <p>Week 16: Final Performance Examination (@Noh Theatre)</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The course provides students not only with knowledge from reading materials but with opportunities where they can actually perform <i>kyogen</i> on the stage under the guidance of a professional <i>kyogen</i> player. Students are also encouraged to actively conduct a research on Oita local culture.</p>		
Recommendation for Private Study	For vocalization, basic movements, and acting in <i>Kyogen</i> , it is necessary to dedicate 2-4 hours per week for practice. Research for scenario creation, as well as the actual scenario writing, will require approximately 3 hours per week of extracurricular activities.		
Textbooks	Hand-outs will be provided in the class.		
References	A list of references will be provided in the class.		
Assessment Criteria	Report: Introduction to <i>Kyogen</i> (10%), Plot Outline (5%), Scenario Submissions 1 to 3 (5% each), Scenario Submission 4 [Final Version] (10%), Midterm Performance Presentation (10%), Final Performance (50%) [Components of Final Performance: Memorization of Lines 20%, Acting 15%, Scenario 15%].		
Supplementary Information	If attendance is less than 70%, the participant will be considered as failing, and they will not be eligible for the final performance examination in Week 16. The maximum limit for regular students is set at 10, with an overall participant limit of 20. Classroom performance will contribute 2% in each session. Additionally, attendance for all participants in the <i>Kyogen</i> Workshop in May is mandatory		

Course Title	City Project: Oita & Beppu		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 3 rd Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd Floor 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	Propose methods to transform Oita and Beppu Cities into vibrant urban centres through group discussions. The focus of the discussion is on the areas around JR Oita Station and the city centre in front of JR Beppu Station's east exit.		
Learning Outcomes	In this course, participants will engage in discussions to examine the current situations of Oita City and Beppu City, aiming to develop the ability to propose interesting urban development ideas. The discussion topics include: (1) The significance of creating a town with consideration for raising children, (2) Characteristics of the downtown area in Oita City, (3) Characteristics of the downtown area in front of JR Beppu Station's east exit, and (4) Changes in the tourism industry after the collapse of the bubble economy.		
Content	<p>Session 1: Orientation, forming groups to build cooperative relationships and foster a sense of camaraderie</p> <p>Session 2: Structure and current state of the downtown area in Oita City</p> <p>Session 3: Considering child-rearing support in Akashi City</p> <p>Session 4: Hub analysis of the downtown area in Oita City</p> <p>Session 5: Preliminary investigation for Field Trip 1</p> <p>Session 6: Field Trip 1 (Oita City's Downtown Area)</p> <p>Session 7: Presentation 1</p> <p>Session 8: Changing trends in tourism and Beppu</p> <p>Session 9: Survey of cultural assets, B-class gourmet, and hot springs in the Downtown area in Beppu City</p> <p>Session 10: Attracting people to the Downtown Area of Beppu City</p> <p>Session 11: Field Trip 2 (the Downtown Area in front of JR Beppu Station's East Exit)</p> <p>Session 12: Development of promotional plans</p> <p>Session 13: Presentation 2</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The progress of course participants in acquiring knowledge is monitored through class discussions, and if necessary, the pace of the class may be adjusted. In cases where a lack of understanding is identified, measures such as brief quizzes will be implemented to prevent falling behind. Additionally, visiting the downtown areas of Beppu and Oita allows for the confirmation of the knowledge gained in class through practical experience</p>		
Recommendation for Private Study	2 hours weekly will be needed for class preparation, and 3 hours for reviewing lecture contents.		
Textbooks	Handouts to be provided in class.		
References	A list of references to be provided in class		
Assessment Criteria	Presentation 1 (25%), Presentation 2 (35%), Assignments (6%×5 Times), Class Participation (10%)		
Supplementary Information	This course is conducted in both Japanese and English, with Japanese being the primary language. To earn credits, attendance in class must be 70% or higher. Participation in both of the two training trips is mandatory. One field trip is equivalent to two class sessions.		

Course Title	Oita Area Studies		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesdays Period: 2
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	Students learn about Oita's society and history from the perspectives of plurilingualism and pluriculturalism. Through group work and fieldwork, they will not only have a deep understanding of Oita, but also be able to consider solutions to local problems from diverse cultural backgrounds and ways of thinking. Through activities on the Internet in multiple languages, they will be able to recognize various languages and raise interest in them.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To understand the history and social problems of Oita and propose solutions. 2. Through these activities, be able to understand one other as individuals with different cultural and language backgrounds. 3. To understand the diversity of languages through working in their mother tongue alongside other languages. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Basic knowledge of Oita 2. <u>Depopulation problem in Oita</u> 3. Preparation for coverage 4. Visit to Agimu area (visit depopulated area in Oita; converted to 2 lessons) 5. Discussion (solution to the depopulation problem) 6. Creating and publishing an internet magazine 7. <u>History of Christians in Oita</u> 8. Preparation for coverage 9. Visit to Taketa City (Taketa Cave Chapel, Takeda Christian Museum; converted to 2 lessons) 10. Discussion (Society that accepts diversity) 11. Creating and publishing an internet magazine 12. <u>Summary</u>: Final discussion 13. Presentation <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The policy of this class is to be agnostic to a single culture or language. Students will be more flexible in dealing with others by working with an understanding of plurilingualism and pluriculturalism.</p>		
Recommendation for Private Study	<p>Students do weekly preparations and assignments.</p> <p>They prepare for group work and write articles in a magazine.</p>		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	Reference materials will be posted on Moodle for each issue		
Assessment Criteria	Fieldwork (10% x 2), Discussion (10% x 2) Report (10% x 2), Final presentation and report (30%), class performance (10%)		
Supplementary Information	The maximum number of participants is 30. Intermediate and above Japanese learners can register for this class. Intermediate level learners must have knowledge of 500 kanji and 3000 vocabulary. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final tasks.		

Course Title	Japanese Popular Culture Studies		
Lecturer	Nagaike, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Tuesday Period: 4 th
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	<p>The contemporary debate about Japanese popular culture has provided various important perspectives from which to deal with questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine a variety of Japanese popular cultural materials—e.g. pre-modern Japanese popular culture, <i>Japanimation</i> (Japanese animations), pop idols, 2.5 dimension, <i>ranobe</i> (light novels), films, et cetera, and discuss the impact of these genres within both the Japanese socio-cultural and global contexts. We will discuss works which have been labeled as belonging to the Japanese aesthetic 'canon' of each period and examine the major recurring (literary and artistic) themes in these works.</p>		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture. 3. Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular). 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction to Japanese Popular Culture 2) <i>Ukiyoe</i> (Pre-modern Japanese Popular Culture) 3-5) Anime 6-7) Pop Music and Idols 8) <i>Ranobe</i> (Light Novels) 9-11) Films 12) Voice Actor 13) 2.5 Dimension 14-15) Group Project <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>This course includes three modes of teaching: lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 3 rd Period Fall: Friday 3 rd Period
Lecturer's Office	Arts Bldg., 3rd Floor keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to provide an overview of how the fashion of Japanese women aged 20±3 has evolved over the past 100 years, from 1920 to 2020, with a focus on the history of economics and popular culture, especially music. However, regarding the emergence of post-World War II youth culture, an overview of the transformation in men's fashion will also be considered.		
Learning Outcomes	<p>By the end of the course, students will be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Acquire the ability to explain the transformation of clean-cut fashion for women in Japan over the past 100 years. 2. Have a good understanding of the relationship between economic conditions and the glamour of fashion. 3. Have a sound understanding of how the history of popular music, particularly from the United States and the United Kingdom (rock and hip-hop genres), is related to fashion trends in Japan. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation, Basics of Fashion and Popular Music 2. History of Blues and African Americans, Historical Development of Girls' Outfits in Japan 3. Birth of <i>Moga</i> Fashion (Swing Jazz Era) 4. History of Jeans (Anti-war Folk Song Movement Era) 5. Birth of Men's Clean-Cut Ivy Look (Beatles and Modern Jazz Era) 6. Summary and Discussion 1 7. History of Black Leather Jacket-Based Outfits (Rock 'n' Roll Era) 8. Establishment of Women's Clean-Cut Fashion (Soft Rock-New Music Era) 9. Ambitious High School Student <i>Shibukaji</i> Fashion (Eurobeat-Hip-Hop Era) 10. Summary and Discussion 2 11. Excessive <i>Gal</i> Fashion (Eurobeat Era) 12. Emergence of <i>Konsaba</i> Fashion (Era of Songstresses) 13. Evolution of Lolita Fashion and the Emergence of <i>Jiraikei</i> Fashion 14. Women Hard Rockers and Underground Female Idol Costumes (Hard Rock-Heavy Metal, and Adolescent Song Era) 15. Summary and Discussion 3 16. Final Exam <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course consists of three lectures followed by one tutorial session ('Summary and Discussion') to confirm the participants' understanding of the lecture content. Additionally, after each lecture, about 15 minutes are allocated for summarization, during which participants answer quizzes to reinforce the understanding and retention of the course content.</p>		
Assessment	Lecture Summary: 10% × 3 Times, Participation: 20%, Final Examination: 50%		
Supplementary Information	The primary language of instruction for this course is English. Participants can choose between English and Japanese for summaries and the final exam. Let's actively engage in discussions in English during the classes.		

Course Title	The Politics and Economics of the EU		
Lecturer	DAY, Stephen	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 2nd Floor, Office No. 2-1, TEL: 097-534-6676 Email: sriday@oita-u.ac.jp		
Aims	The goal of this module is to provide learners with an awareness and in-depth understanding of: 1) the historical and contemporary development of the European Union (EU), 2) a selection of key institutions and policies; 3) the processes associated with Brexit		
Learning Outcomes	<p>A) Facilitate the ability of learners to critically discuss and evaluate, in a cogent manner, the process of European integration</p> <p>B) Familiarize learners with the key institutional actors of the EU and the role that they play within the EU's institutional architecture</p> <p>C) Facilitate the ability to recognize and compare the distinctive nature of the EU's transnational political system with national political systems</p>		
Content	<p>1. Introductory overview - the importance of critical thinking</p> <p>2-4. Historical background – emerging from the ashes of WWII</p> <p>5-6. What is the EU? What does it do?</p> <p>7-8. Integration processes - from an FTA to a political union</p> <p>9-10. Dealing with Internal and External Challenges</p> <p>Case Studies</p> <p>11-12. Borders and Citizenship – attempting to nurture a common European identity</p> <p>13-14. European parliamentary elections – attempting to build a transnational democracy</p> <p>14-15. What drove the UK's exit (Brexit) from the EU</p> <p>16. Final Exam</p> <p>As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include quizzes, exercises in applying theory to real-world scenarios and evaluations of various types of media reports.</p>		
Recommendation for Private Study	Michelle Cini and Nieves Pérez-Solórzano Borragán (eds.) (2022) <i>European Union Politics</i> , Oxford University Press (Seventh Edition) 『EU——欧州統合の現在（第4版）』創元社。2020		
Textbooks	For beginners - John Pinder and Simon Usherwood (2018), <i>The European Union: a very short introduction</i> , (4th edition) Oxford: OUP		
References			
Assessment Criteria	1. Final assessment (50 percent) 2. Portfolio of work (50 percent)		
Supplementary Information	The determination to study the European Union (EU), via English, and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspaper, video and web-based material during the module.		

Course Title	Ethnographic Study on Rural Japan		
Lecturer	Ryo Kubota	Faculty	Faculty of Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Thu Period: 4
Lecturer's Office	Room 4-10 on the 4 th floor in Liberal Art Building, 097-554-7730, yuralria@oita-u.ac.jp		
Aims	We explore various issues that are associated with living in Inaka, which can be translated as countryside or rural area. We study what means to be Inaka, what resources Inaka dwellers appropriate to maintain their quality of life, and what we can do to support their challenges.		
Learning Outcomes	You will deepen your understanding of Japanese Inaka. You will acquire your communicative skills and improve your cognitive skills.		
Content	<p>WEEK01 Guidance</p> <p>WEEK02 Ice break (tell us yourself and your principle)</p> <p>WEEK03 and WEEK04 Urban vs Rural</p> <p>WEEK05 Social Issues in contemporary Japan (depopulation)</p> <p>WEEK06 Social Issues in contemporary Japan (aging)</p> <p>WEEK07 Revitalizing the community (landscape and natural resources)</p> <p>WEEK08 Revitalizing the community (Green tourism)</p> <p>WEEK09 Revitalizing the community (local specialty)</p> <p>WEEK10 Revitalizing the community (Japanimation)</p> <p>WEEK11 Revitalizing the community (mascot and kawaii culture)</p> <p>WEEK12 Revitalizing the community (local festivals)</p> <p>WEEK13 Revitalizing the community (international recognition)</p> <p>WEEK14 and WEEK15 Final Presentations</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>To work on class activities diligently is more than welcome.</p>		
Recommendation for Private Study	It is your responsibility to read assigned articles, watch materials and think about issues you would like to discuss before the class.		
Textbooks	Reading assignments will be uploaded on Moodle.		
References	Additional materials will be provided and distributed via Moodle.		
Assessment Criteria	Assignments (30pt), Contribution to discussion (20pt), Final Paper (50pt)		
Supplementary Information	You will be exposed to a variety of viewpoints, values and opinions that might differ from your own. All students should feel comfortable expressing their viewpoints and concerns in lecture. The schedule above is tentative. Dates, topics and activities are subject to change.		

Course Title	Japanese Presentation Skill		
Lecturer	NISHIJIMA, Yoriko	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesdays Period:4
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 y-nishijima@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this class is to actively participate in discussions and to be able to accurately convey information and views in Japanese. Students will analyze content and develop the skills to speak logically. In addition, international students and Japanese students will deepen mutual understanding through group work.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To present a formal speech using PowerPoint (etc.) depending on the purpose. 2. To be able to talk logically and convincingly. 3. To collaborate and discuss with people from various backgrounds. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Effective self-introduction 2. Discussion ①: Discussion method 3. Discussion ② 4. Presentation method 5. Preparation for presentation ① 6. Preparation for presentation ② 7. Presentation ① 8. Presentation ② 9. Speaking logically ①: Logical and persuasive way of speaking 10. Speaking logically ②: Discussing without removing the points 11. Debate method 12. Preparation for simple debate ① 13. Preparation for simple debate ② 14. Simple debate match ① 15. Simple debate match ② <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>In any activity, students not only perform self-evaluation and peer evaluation, but also discuss points for improvement within the group and deepen introspection. In addition, the teacher will provide feedback to students to improve their speaking abilities.</p>		
Recommendation for Private Study	<p>Students do weekly assignments.</p> <p>They carry out group activities outside of class for presentations and ensure sufficient preparation time.</p>		
Textbooks	To be prepared and provided by the lecturer.		
References	<p><i>Chi no navigeta</i>, Kuroshio, 2007</p> <p><i>Koto-happyo to Toron no gijuts</i>, Tokaidaigakushuppansha, 1995</p> <p><i>Ronriteki de tadashii nihongo o tsukautame no gijutu to toreningu</i>, Beret, 2013</p>		
Assessment Criteria	Group discussion (20%), Presentation (30%), Debate (30%), Assignments (10%), Final report (10%)		
Supplementary Information	The maximum number of participants is 30. Intermediate and above Japanese learners can register for this class. Intermediate level learners must have knowledge of 500 kanji and 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final debate match.		

Course Title	Japanese Linguistics I		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 2 nd period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3 rd floor Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims at offering a basic overview of Japanese linguistics and showing how linguists analyze language. This course also provides beginning students with a solid grounding in basic Japanese linguistic concepts in the fields of phonetics, vocabulary, grammar, dialect, and so on.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. To observe carefully in basic Japanese linguistic concepts in the fields of phonetics, vocabulary, grammar, dialect, and so on, and acquire a solid grounding. 2. To research and analyze an area of interest. 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Overview 2. Japanese compared with other languages 3. Grammar 4. Phonetics: the sound of language 5. Phonetics: the sound of language 6. Phonology: the function and patterning of sounds 7. Contraction 8. Dialect 9. Mid term 10. Vocabulary 11. Phase 12. Grammaticalization 13. Accent 14. Group presentation 15. Group presentation and feedback <p>【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Students regularly exchange their ideas and opinions in group. They have to work with each other to collect examples and find language rules and characteristics.</p>		
Recommendation for Private Study	Students will be assigned homework on a regular basis to consolidate the topic covered in class.		
Textbooks	Handouts to be provided in class.		
References	Tomohide Kinuhata (2023) <i>Basics of Japanese Linguistics, Second Edition</i> , Hituzi. Isao Iori (2012) <i>Atarashii Nihongogaku Nyumon</i> , 3A Network.		
Assessment Criteria	Mid-term exam 40%, Group project work 30%, Homework 20%, Class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to have passed JLPT N1, because Japanese is used in this course. Japanese students can take this course too. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Business Japanese Seminar 1 : Current affairs I		
Lecturer	Keizo Nanri	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 3 rd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course is for students from Jiangnan University "3+1" program. It aims to develop skills in reading and understanding crime, political, and financial articles published in newspapers. The course focuses on gaining an understanding of the characteristics of Japan's media information dissemination system, the relationship between the media and the government, and the reporting stance of the media.		
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to: (1) understand the paragraph structure of editorials on crime, political, and fiscal policy issues featured in Japanese newspapers, (2) comprehend the relationship between reporters in the social affairs department and law enforcement authorities, (3) understand the relationship between political reporters and politicians/bureaucrats, and (4) discuss the characteristics of Japan's media industry.		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation, Overview of Japan's Mass Media 2. Kisha Clubs 3. Event Articles and Opinion Articles 4. Characteristics of Crime Articles 5. Characteristics of Political Articles 6-7. Ideological Positions and Editorials 8. Economic Discussions in Editorials and the Ministry of Finance 9. Unbiased Reporting (<i>Fuhen Futo</i> Editing Policy) 10. Presentation 1 11. Japanese Political Parties and Their Fiscal Policies 12. Government Bond Issuance and Fiscal Crisis Theory 13. Project Proposal for Analysis 14. Workshop 15. Presentation 2 <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The course consistently focuses on the current media landscape, regularly searching for timely developments in the media through internet searches, and aiming to provide students with a first-hand experience of the real-time dynamics of the media.</p>		
Recommendation for Private Study	The course encourages students to establish the habit of reading news not only from Japanese media but also from media in other countries every day, fostering the daily discovery of the characteristics of Japanese media.		
Textbooks	Handouts to be delivered in class.		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation (20%), Assignment (30% [8 times]), Presentation 1 (20%), Presentation 2 (30%)		
Supplementary Information	The course is also open to other international students.		

Course Title	Business Japanese Seminar 2 : Career development		
Lecturer	Keizo Nanri	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Wednesdays 2 nd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course is for students from Jiangnan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and acquiring speaking and writing skills in business settings through understanding and analyzing themselves.		
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to (1) develop the ability to interpret economic conditions from basic statistical data, (2) gain an understanding of the current realities of Japanese companies, and (3) acquire foundational knowledge to find employment opportunities in Japan.		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1. Overview of the course, Global and Japanese Economic Trends 2. Polarisation of Japanese Society 3. Japanese Companies with Global Influence 4. Thriving Industries in Japan 5. How to Choose Employment Opportunities 6. Japanese Perspectives on Labor 7. Preparation for a Japan Revitalization Project 8. Presentation of a Japan Revitalization Project 9. Job Hunting Process 10. Business Etiquette: <i>Keigo</i> 11. Interviews and <i>Hitogara</i> (Personality) 12. Writing a Resume 13. Dining Etiquette 14. Positive Thinking and Expressing Gratitude 15. Speech Presentation <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>The course will enable students (1) to grasp the current state of the Japanese economy through easily understandable statistical data, (2) to visually understand the characteristics of contemporary Japanese society with the aid of YouTube videos and other visual materials, and (3) deepen comprehension of issues in the Japanese economy by proposing a Japan Revitalization Project. Also, through discussions, the course will empower them to actively contemplate ways to succeed in Japan on their own.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are encouraged to independently conduct research on companies exploring survival through niche specialization. Every society has its bright and dark sides. The course encourages them to actively learn from Japanese companies and artists who shine amid economic challenges.		
Textbooks	Handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation (10%), Assignments (40%), Project Presentation (25%), Speech Presentation (25%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Manga Studies		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesday Period: 4 th
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	The contemporary debate concerning Japanese manga culture provides various important perspectives on questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine a variety of Japanese manga genres and discuss the socio-cultural impact of these genres, within both the Japanese and global contexts. The specific design characteristics and motifs of each manga genre will also be analyzed.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture. 3. Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular). 		
Content	<ol style="list-style-type: none"> 1) Orientation 2) Japanese "Soft Power" 3-5) Theoretical Perspectives on Manga Drawing (1)~(3) 6) Analysis of Shōnen (boys) manga 7) Analysis of Shōjo (girls) manga 8) Analysis of Ladies' Comics 9) Analysis of Boys' Love Manga 10) Data-Based Consumption and Manga 11) Censorship and Manga 12) Racial Issues in Manga 13) Analysis of Yuri Manga 14) Globalization and Manga 15) Review <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</p> <p>This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Japanese Grammar and Discourse		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 3 rd Period
Lecturer's Office	keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to explore the Japanese language from two perspectives: sentence construction and discourse construction. Sentential exploration will focus on 5 case markers (<i>o</i> , <i>ni</i> , <i>to</i> , <i>e</i> , <i>de</i>), the topic marker <i>wa</i> , the subject marker <i>ga</i> , and serial verb construction. Discourse exploration will be conducted from the perspective of schema.		
Learning Outcomes	By the end of the semester, students are expected to enhance their linguistic performance in Japanese by understanding (a) the function of the aforementioned 5 case markers, (b) the mechanism of Japanese serial verb construction, (c) how the particle <i>wa</i> contributes to text construction, and (d) some Japanese methods of text creation, which will be explored from the perspective of schema.		
Content	<p>Week 1: Orientation & Overview of the Japanese Language. Week 2: Parts of Speech. Weeks 3-7: Experiential Function and Sentence Structure I. Week 8: Presentation 1. Week 9: Experiential Function and Sentence Structure II. Weeks 10-12: Interpersonal Function and Serial Verbal Construction. Weeks 13-14: The Function of <i>Wa</i>, Text Structure, and Japanese Culture. Week 15: Presentation 2.</p> <p>(Specific Teaching Methods to Enhance Student Learning)</p> <p>The class is conducted interactively, with a strong emphasis on discussion. Two or three topics are presented for discussion in each session. Students are encouraged to analyze provided data and explore the theories behind it. The class will navigate from the discussion of parts of speech to that of Japanese culture from the viewpoint of schema.</p>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to allocate two hours for class preparation and an additional two hours for reviewing the material covered in class.		
Textbooks	Handouts to be provided in class		
References	To be provided in class.		
Assessment Criteria	Small assignments 5% x 10 times, First Presentation 20%, Second Presentation 30%. Students who attend less than 70% of the classes will fail this course.		
Supplementary Information	Participation in group discussions is mandatory. The class is conducted in English, with explanations provided in Japanese as supplementary. Students who have taken or are currently taking 'Japanese Grammar and Text Structure' are not eligible to enroll in this course.		

Course Title	Social Networks and Introduction of Oita to the World II		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Wednesdays 3 rd Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to promote the appeal of <i>Kunisaki</i> through blogging and creating a website, developing effective online communication skills. Simultaneously, it also focuses on cultivating individuals who can work effectively in group settings.		
Learning Outcomes	This course aims to learn the following through discussions: (1) basic knowledge for leading a safe internet life, (2) fundamental knowledge about Kunisaki's World Agricultural Heritage and the Rokugo Manzan cultural assets, (3) how to start a blog, and (4) how to use Wix websites. By the end of this course, students should have acquired a minimum level of knowledge about information dissemination on the internet. During the two field trips, participants will focus on the current situation in depopulated areas, and their insights will be submitted as the final report.		
Content	<p>Session 1: Orientation, Finding Companions, Class Summary 1 Session 2: Basics of the Internet, Class Summary 2 Session 3: Starting a Blog, Class Summary 3 Session 4: Understanding Kunisaki's World Agricultural Heritage, Class Summary 4 Session 5: Preparation for Field Trip 1, Discussion on Blog Content Session 6: Field Trip 1 (Planned for Asahi Elementary School District in Kunisaki City) Session 7: Blog Presentation (Presentation 1) Session 8: Starting a Website with Wix, Class Summary 5 Session 9: Understanding Rokugo-Manzan Culture, Class Summary 6 Session 10: Field Trip 2 (Planned for Kunimi District in Kunisaki City), Class Summary 7 Session 11: Satoyama and Forest Degradation Session 12: Website Structure, Group Discussion Session 13: Website Presentation (Presentation 2)</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class takes the form of group discussions. Each group has a chairperson and a secretary, both of whom act as summarizers for the group. The chairperson and secretary confirm the understanding of the class content by all group members, and the summary of the class content is submitted as homework the following week. Each group presents the findings of their research through blogs and websites. Through these presentations, the class shares the investigated topics as a whole.</p>		
Recommendation for Private Study	Three hours of preparation and three hours of review are required.		
Textbooks	Handouts to be provided in class		
References	A list of references to be delivered in class		
Assessment Criteria	Class summaries (10%), field work (1 st 10%, 2 nd 10%), a blog presentation (20 marks), a website presentation (20%), the final report (25%). If attendance is less than 70%, the student will be considered as failing, and the points for fieldwork and the final report will be excluded from the total score.		
Supplementary Information	The classes are conducted in both Japanese and English, with Japanese being the primary language. Attendance for the two field trips is mandatory, and participation in one field trip is equivalent to two class sessions.		


Course Title	Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese in the Framework of Cognitive Linguistics		
Lecturer	HASHIMOTO, Mikio	Faculty	Education
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursday Period: 4
Lecturer's Office	Education Bldg. B, 5th Floor	097-554-7578	mikioha@oita-u.ac.jp
Aims	One of the main goals is to help you understand some of the differences in the basic structures of Japanese and English from the perspective of cognitive linguistics.		
Learning Outcomes	English and Japanese often use different linguistic forms for the same situation due to differences in perspective. By understanding why these differences arise between Japanese and English, you will deepen your understanding of the characteristics of the Japanese language.		
Content	<p>Week 1 Introduction: How to represent Japanese in the Roman Alphabet</p> <p>Week 2 Basic Sentence Types and Stage Model</p> <p>Week 3 Syntactic differences between Japanese and English</p> <p>Week 4 Cause-Effect Relation</p> <p>Week 5 Structure of Speech Situation</p> <p>Week 6 Conjugations of Japanese Verbs (Group 1)</p> <p>Week 7 Conjugations of Japanese Verbs (Group 2 and irregular verbs) and Adjectives</p> <p>Week 8 Tense and Aspect</p> <p>Week 9 Semantic Classification of Japanese verbs</p> <p>Week 10 Semantic Classification of English Verbs</p> <p>Week 11 Japanese Passive Constructions</p> <p>Week 12 English Passive Constructions</p> <p>Week 13 English Causative Constructions</p> <p>Week 14 Japanese Causative Constructions</p> <p>Week 15 Summary</p> <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) You will answer some relevant questions in class to deepen your knowledge.</p>		
Recommendation for Private Study	Questions relevant to the lectures will be assigned as homework.		
Textbooks	Handouts to be made available in class via Moodle		
References	References will be provided in class.		
Assessment Criteria	Weekly Assignment 40% Essay 60%		
Supplementary Information	You need your smartphone or PC in class.		

Course Title	Introduction to Global Studies		
Lecturer	DAY Stephen	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 2nd Floor, Office No. 2-1, TEL: 097-534-6676 Email: sriday@oita-u.ac.jp		
Aims	The purpose of this module is to provide learners with an historical and contemporary understanding of global political and economic issues and risks since 1945. It will look at the way in which processes of political, economic, and cultural globalization have impacted upon our lives – for good or for ill. It will ask if the future is one of global governance or are developments taking with world towards de-globalization?		
Learning Outcomes	A) Familiarize learners with the key debates surrounding globalization and provide the means to assess and comment upon those debates in a critical and lucid fashion B) Enable learners to articulate the pros and cons of globalization by drawing together some theoretical and real-world experiences C) Enable learners to evaluate and comment upon the impact and consequences of global issues in a cogent and concise manner		
Content	<p>1. Introductory overview 2-3. Developing critical thinking skills 4-5. Political and economic developments 1945-1989 – an era of changing paradigms 6. Revisiting the global financial crisis (2007-2009) 7-9. 2024 and beyond – an era of global uncertainty? 10-11. Three perspectives - hyperglobalists, sceptics, and transformationalists 12-13. Borders and identity in the 21st century 14. Wealth inequality, the environment and technology 15. De-globalization</p> <p>As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include quizzes, crosswords, evaluating a range of media reports, and exercises in applying ideas to real-world scenarios.</p>		
Recommendation for Private Study	Manfred B. Steger and Paul James, <i>Globalization Matters: Engaging the Global in Unsettled Times</i> , Cambridge University Press, 2019		
Textbooks	For absolute beginners I would recommend Manfred B. Steger (2020), <i>Globalization: A Very Short Introduction</i> , (5th edition) Oxford: Oxford University Press		
References			
Assessment Criteria	Final Assessment - 50 percent Portfolio of work - 50 percent		
Supplementary Information	Learners will be expected to have a determination to study in English and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspaper, video, and web-based material during the module.		

Course Title	Economics of Globalization and Sustainability		
Lecturer	Shigeki SHIBATA	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Friday Period: 3
Lecturer's Office	Lecture Room 419, 4th. fl, Faculty of Economics Building, TEL: 097-554-7715, Email: sshiba@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this course is to give students a series of basic knowledge regarding sustainable development in the global economy		
Learning Outcomes	At the end of the course, students should have 1. Obtained basic knowledge regarding sustainable development in the global economy 2. Become capable at evaluating economic policies in this domain. 3. Improved their ability to make presentations and participate in discussions.		
Content	This course will concentrate on analyzing and explaining regarding sustainable development in the global economy while reading textbooks. 1. Concepts of global economy and sustainable development 2. Development of global economy 3. Sustainable Development by reading case studies (some articles) Students need to read assignments and prepare presentations.		
Recommendation for Private Study	To be provided by lecturer based on students' interests		
Textbooks	To be provided by lecturer		
References	To be provided by lecturer		
Assessment Criteria	Attendance and participation: 50% Power-point presentation: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Japanese Management and Sustainable Development		
Lecturer	YU, Songping	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 4
Lecturer's Office			
Aims	The objective of this course is to grasp knowledge of Japanese business and management.		
Learning Outcomes	<ol style="list-style-type: none"> 1. Learn about the history, characteristics, and challenges of businesses and management in Japan. 2. Learn to analyze real-world business issues through case studies. 3. Enhance the ability to communicate business and management related topics clearly and persuasively. 		
Content	<p>Week 1: Introduction to Japanese Business and Management</p> <p>Week 2: Structure and theory of Japanese firm</p> <p>Week 3: The corporate environment in Japan</p> <p>Week 4: The Japanese work environment (1)</p> <p>Week 5: The Japanese work environment (2)</p> <p>Week 6: The Japanese market (1)</p> <p>Week 7: The Japanese market (2)</p> <p>Week 8: Interaction and communication (1)</p> <p>Week 9: Interaction and communication (2)</p> <p>Week 10: Case presentation (Example: Paypay; Mercari, etc)</p> <p>Week 11: Case presentation</p> <p>Week 12: Case presentation</p> <p>Week 13: Case presentation</p> <p>Week 14: Case presentation</p> <p>Week 15: Summary</p>		
Recommendation for Private Study	Basic knowledge of management, and interest in case analysis will be expected.		
Textbooks	<p>Haghirian, P. (Ed.). (2021). Japanese Management: Market Entry, Crisis and Corporate Growth. World Scientific.</p> <p>Haghirian, P. (Ed.). (2016). Routledge handbook of Japanese business and management. Routledge.</p>		
References			
Assessment Criteria	Report (30%), Final presentation (40%), Active Class Participation (30%)		
Supplementary Information	<p>The class plan is subject to change according to the number of participants.</p> <p>Students will be organized into teams.</p> <p>Teamwork will consist of your team's presentation of business cases (at most 2 cases) and one report of an assignment case.</p> <p>Copies of reading assignments will be distributed.</p>		

Course Title	Invitation to Natural Science		
Lecturer	Ryuji Kondo, Hajime Nishigaki, Tomoyuki Nagaya, Hiromichi Suetani Takuya Iwashita, Mihoko Konishi	Faculty	Faculty of Science and Technology
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 2 nd Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 2nd Floor 097-554-7956 ryuji-kondo@oita-u.ac.jp		
Aims	The first half is oceanography. In this part, students will learn what occur in the oceanic water and how we know and understand these phenomena. In the second half, we will develop a foundation for understanding the scientific aspects of various issues in modern society by learning about some areas of physics.		
Learning Outcomes	In the oceanography part, students will be able to explain some fundamental oceanographic phenomena. In the second half of the physics part, the goal is to learn about the characteristics of physical approaches to natural phenomena.		
Content	<p>first half : Water motions in ocean (Nishigaki)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The Earth and the ocean 2. Distribution of oceanic water 3. General circulation in the ocean 4. Wind driven ocean circulation 5. Tides in the ocean 6. Ocean observations 7. What is oceanography <p>Latter half : Physics related fields</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Examples of scientific research on various structures and patterns that emerge when an electric or magnetic field is applied to a liquid crystal will be presented. 2. Journey into the World of Material Science: In this lecture I will present major research institutions worldwide for materials science. Additionally, we will facilitate discussions and exchange opinions on cultures from around the world. 3. We will review the properties of electromagnetic waves and Newton's law of universal gravitation, and then introduce how to understand the various phenomena in the universe from observations. 4. Introducing nonlinear phenomena found in nature. 5. Learn about electromagnetic waves while creating a mineral radio. 6. Including the content of this lecture, students will summarize and present their own thoughts on what are the characteristics of the physical approach based on their knowledge of science so far (this item will take two weeks) <p>(Specific modes of teaching to enhance students' learning) Each instructor will introduce texts that will serve as reference for the lecture content.</p>		
Recommendation for Private Study	Review of the content of each lecture		
Textbooks	Not specified.		
References	Instructions will be given by each instructor.		
Assessment Criteria	Evaluation is based on 50% mid-term test and 50% final test (presentation).		
Supplementary Information	Students are required to make a final day presentation in a physics-related field.		



**Global Education and
Intercultural Advancement Center,
Oita University**

700 Dannoharu, Oita-shi, Oita, 870-1192, JAPAN

TEL: +81-97-554-7444 FAX: +81-97-554-7437

E-mail: ryugaku@oita-u.ac.jp

URL: <http://www.gaia.oita-u.ac.jp>

大分大学国際教育推進センター

870-1192 大分市大字旦野原700番地

